

施工説明書 温水洗浄一体型便器

全自動おそうじトイレ アラウーノ L150シリーズ



床排水タイプ

施工前に

標準タイプ

リフォームタイプ

リフォームダイレクトタイプ

共通の施工手順

施工後の確認

品番

タイプ	アプリ対応	リモコン	便器	給排水部材セット	対応排水芯
標準	タイプ0	あり	CH1500□□■(K)(7)(L)	CH150F (CH150FM)	120 mm・ 200 mm
	タイプ1		CH1501□□■(K)(7)(L)		
	タイプ2		CH1502□□■(K)(7)(L)		
	タイプ9		CH1509□□■G(K)(7)		
	タイプC		CH150C□□■(K)(7)(L)		
	タイプ0	なし	CH1500□□N(K)(7)(L)		
リフォーム	タイプ1	あり	CH1501□□■(K)(7)(L)	CH150FR (CH150FM)	305 mm～ 470 mm
	タイプ2		CH1502□□■(K)(7)(L)		
	タイプ9		CH1509□□■G(K)(7)		
	タイプC		CH150C□□■(K)(7)(L)		
	タイプ0		なし		
	タイプ1	なし	CH1501□□N(K)(7)(L)		
リフォームダイレクト	タイプ2	あり	CH1502□□■(K)(7)(L)	CH150FW	305 mm～ 510 mm
	タイプ9	あり	CH1509□□■G(K)(7)		
	タイプC	あり	CH150C□□■(K)(7)(L)		
	タイプ0	なし	CH1500□□N(K)(7)(L)		
	タイプ1	なし	CH1501□□N(K)(7)(L)		
	タイプ2	なし	CH1502□□N(K)(7)(L)		

□□…便ふたあり仕様: WS ■…スティックリモコンが白の場合: S (K)…クローズ洗浄モード搭載
 便ふたなし仕様: FN スティックリモコンが黒の場合: B (7)…寒冷地仕様
 便ふたなしキャップ仕様: FC (L)…タイル床仕様

※CH150FMは、標準タイプの床フランジとリフォームタイプの排水アジャスタが同梱された、配管セットマルチタイプです。

もくじ

安全上のご注意	2
施工チャートともくじ	5
取り付け前に	6
寸法図	7
各部の名前と部品表	8
給水位置の確認と 止水栓の取り付け	10
標準タイプの取り付け	11
リフォームタイプの取り付け	16
リフォームダイレクトタイプの 取り付け	21
共通の施工手順	26
施工後の確認	裏表紙
引き渡し	裏表紙

- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」(2～4ページ)は、施工前に必ずお読みください。
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 施工後は引き渡しの際に、取扱説明書に従って取扱方法をお施主様にご説明いただき、保証書に必要事項を記入してお施主様にお渡しください。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。



安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

施工前に

警告

 禁止	<p>全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ●分解・改造・説明書記載以外の修理は絶対に行わない 感電・火災・けがの原因になります。 ●浴室など湿気の多い場所に設置しない ●水洗いができる床には設置しない（タイル床仕様、タイプ9を除く） 感電・火災・故障の原因になります。 	 禁止	<p>電気に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ●傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない、また電源コードの屈曲など破損するようなことはしない 感電・火災・けがの原因になります。 ●給水位置の真下にコンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない 感電や火災のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●必ず施工説明書に従って施工する 感電・火災・けがの原因になります。 ●必ず上水道に接続する 上水道以外に接続すると、ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。 		 必ず守る <ul style="list-style-type: none"> ●定格15A以上交流100Vのコンセントを単独で使う 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。 ●アース工事 [D種 (第3種) 接地工事、接地抵抗100Ω以下] を行う 接地しないと漏電のときに感電するおそれがあります。
 禁止	<p>電気に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを無理に引っ張らない けがや発火、発煙の原因になります。 ●便器の操作部、電源プラグに水や汚水をかけない 感電・火災・けがの原因になります。 ●ぬれた手で電源プラグを触らない 感電の原因になります。 ●便器を取り付けるときは、電源コードやアース線をはさみ込まない 火災や感電の原因になります。 	 必ず守る	<p>電池に関すること<リモコン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●電池の⊕、⊖を正しく入れる 取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。
			<p>漏電・火災の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う 漏電・火災の原因になります。

注意

 禁止	<p>全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ●便器に固いものや重いもの、とがったものを落としたり、当てたりしない 変形・破損によるけがの原因になります。 	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●設置後、便器本体を一度取り外す場合は、洗剤タンクが入ったまま便器本体を横置き、斜め、裏返しにしない 洗剤が漏れ、感電・火災の原因になります。
--------	---	--------	---

⚠ 注意

施工前に

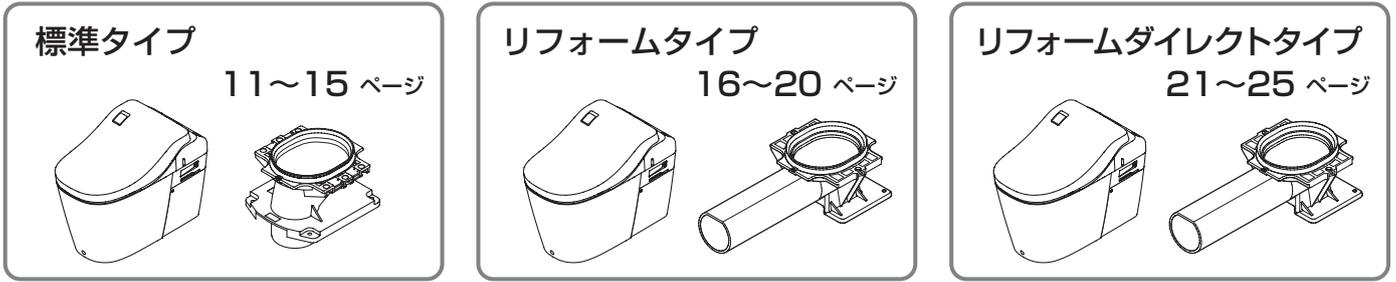
 禁止	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc; margin: 0;">水漏れ防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 給水ホースや排水管などに力を加えない 水漏れの原因になります。 ● 止水栓を開いたままストレーナを外さない 水が噴き出し拡大損害になります。 ● 給水ホースに手をかけない 水漏れの原因になります。 	 必ず守る	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc; margin: 0;">水漏れ防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2階以上のトイレルームに設置する場合は、必ず排水管まわりにシーリングを行う 階下への水漏れのおそれがあります。 ● 施工後に必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する 水漏れによる拡大損害の原因になります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 給排水接続は必ず正しい方法で施工する 破損・水漏れの原因になります。 ● 水道工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う 破損・水漏れの原因になります。 ● 排水管は奥まで十分に差し込み、接続する 施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。 ● 止水栓にがたつきのないことを確認する 水漏れの原因になります。 ● 床面は、水平に施工する 凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。 ● 給排水の接続には必ず指定のパッキンを使用する 施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。 ● 便器本体と床を固定する金属フレームと床との間にすき間がなくなるまで締め付ける 便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。便器を置いたままずらすと、パッキンがねじれ水漏れの原因になります。 ● 型紙を使って必ず専用の床固定ねじで施工をする 水漏れの原因となります。 ● ストレーナをしっかりと締めつける 破損・水漏れの原因になります。 ● 止水栓を開く前に、必ず同じ配管系統で排水し、給水配管の空気を抜く 商品の破損や水漏れの原因になります。 ● 便器を取り付ける床面は24 mm厚以上の合板を使用する 水漏れや転倒によるけがなどの原因になります。 	 禁止	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc; margin: 0;">洗剤・薬品に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 便器のお手入れには下記洗剤を使用しない 製品が割れてけがをしたり、製品内部が露出し、感電の原因になります。 (取扱説明書48ページ参照) <p style="text-align: center; background-color: #cccccc; margin: 0;">【使用してはいけない洗剤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 酸性 ● アルカリ性洗剤 *1 ● 重曹、アルコールを含む洗剤 *2 ● トイレ掃除用ペーパー *3 ● オレンジオイルを含む洗剤 ● 柑橘系の香りを有する洗剤 ● 消臭剤 ● 滴下するタイプの消臭液 ● 苛性ソーダや強塩酸などの薬品 ● シンナー、ベンジン、消毒薬、その他薬品 <p>*1… 湿布法 (取扱説明書62ページ参照) でお手入れを行う場合は使用可能です。</p> <p>*2… エタノール、イソプロピルアルコールなど</p> <p>*3… 花王製トイレクイックルは使用可能です。 (当社試験により確認済み)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 型紙を使って必ず専用の床固定ねじで施工をする 水漏れの原因となります。 ● ストレーナをしっかりと締めつける 破損・水漏れの原因になります。 ● 止水栓を開く前に、必ず同じ配管系統で排水し、給水配管の空気を抜く 商品の破損や水漏れの原因になります。 ● 便器を取り付ける床面は24 mm厚以上の合板を使用する 水漏れや転倒によるけがなどの原因になります。 	 禁止	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc; margin: 0;">標準タイプ (床フランジ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 床フランジを無理な力で固定しない また、割れたまま使用しない 水漏れの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 止水栓を開く前に、必ず同じ配管系統で排水し、給水配管の空気を抜く 商品の破損や水漏れの原因になります。 ● 便器を取り付ける床面は24 mm厚以上の合板を使用する 水漏れや転倒によるけがなどの原因になります。 	 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● リングとの接着は、排水管・リングの種類の適合、接着向きを正しく行う、また、塩ビ用接着剤を接着面全周に塗り、奥まで十分接着する 床フランジ部からの水漏れ、臭いもれの原因になります。 ● 床フランジが床からの浮きや、がたつきがないようにしっかりと4か所を締めつける 締めつけが悪いと便器がぐらついたり、水漏れのおそれがあります。

⚠ 注意

<p> 禁止</p>	<p>リフォームタイプ（排水アジャスタ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Pシールを二重で使用したり、排水管にはみ出した状態で施工しない <p>排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。</p>	<p> 必ず守る</p>	<p>リフォームタイプ（排水アジャスタ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●床アジャスタを切断後は端部のバリ、汚れを完全に取り除く <p>バリや汚れが付着したまま接着すると水漏れの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●がたつきがないことを確認する <p>水漏れの原因になります。</p>
<p> 必ず守る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●既設床フランジにしっかり固定する <p>水漏れの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●排水アジャスタが床から浮いたり、がたつかないように床フランジ接続部のナット（2か所）をしっかりと締めつける <p>水漏れの原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●排水アジャスタの接着は接着面全周に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分に押し込んで接着する <p>施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。</p>	<p> 必ず守る</p>	<p>凍結防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設置後、しばらく使用せず、凍結のおそれがある場合は、水抜きや不凍液を入れるなどの凍結防止をする <p>破損・水漏れの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●寒冷地以外の地域でも、屋外配管・露出配管については、凍結防止ヒーターを取り付けるなどの適切な凍結予防対策を実施する <p>冬場周囲温度が0℃以下になると、凍結し、機器や配管が破損したり水漏れする原因になります。</p>

施工チャートともくじ

施工前に



標準タイプ／リフォームタイプ／リフォームダイレクトタイプ 共通の確認・取付手順

- 給水位置の確認 10
- 止水栓の取り付け 10

- | | | |
|--------------|--------------------|--------------------|
| 床工事 11 | 既設便器の取り外し 16 | 既設便器の取り外し 21 |
|--------------|--------------------|--------------------|

手洗いの取り付け (手洗いに同梱のアラウーノ専用手洗ユニット施工説明書を参照) **オプション**

標準タイプ	リフォームタイプ	リフォームダイレクトタイプ
床フランジとリングの取り付け ... 12	床アジャスタの切断 16	床アジャスタの切断 21
床フランジの取り付け 13	排水アジャスタの組み立て ... 18	排水アジャスタの組み立て ... 23
サイドカバーの取り外し 14	排水アジャスタの取り付け ... 19	排水アジャスタの取り付け ... 23
便器の取り付け 14	サイドカバーの取り外し 20	サイドカバーの取り外し 25
	便器の取り付け 20	便器の取り付け 25

標準タイプ／リフォームタイプ／リフォームダイレクトタイプ 共通の施工手順

- 止水栓への接続 26
- アームレストの取り付け **オプション**
(アームレストに同梱のアームレスト施工説明書を参照)
- リモコンの準備 27
- 本体への給水と通電 28
- 洗剤タンクの取り付け 29
- 便器洗浄と水漏れの確認 30
- 便器洗浄水量の調節 30
- 試運転 31
- ストレーナ(ごみ取りフィルター)の掃除 33
- 水抜き方法 34
- サイドカバーの取り付け 35
- 施工後の確認 裏表紙

取り付け前に

〈公的機関の確認事項〉

- 一部の特定地域では設置できない場合や水道事業管理者の承認が必要な場合があります。弊社営業所、または販売店にご相談ください。
- アラウーノ便器は不燃材ではありません。設置の場合は、消防法関連法令および告示などに基つき設置してください。

〈電気関連の注意事項〉

- 配線工事は必ず電気工事店にご依頼ください。
- AC100V埋め込みアースターミナル付コンセントが必要です。15A専用配線が必要です。以下の仕様の場合は必要なコンセントの数が変わります。

仕様		必要なコンセントの数
便器のみ設置	寒冷地仕様	2個(アース付)
「アラウーノ専用 手洗ユニット」と併設	自動水栓	2個(アース付)
	自動水栓+寒冷地仕様	3個(アース付)

- 製品のコード長さは1.0 mです。電源コンセントはこれに適した位置へ設置してください。

〈水関連の注意事項〉

- 水道配管工事は各都市水道局の指定店にご依頼ください。
- 使用水道圧範囲は0.05 MPa(流動時)~0.75 MPa(静止時)です。アラウーノ専用手洗ユニットを併設する場合の使用水道圧範囲は0.1 MPa(流動時)~0.75 MPa(静止時)です。洗面所や浴室などで同時に水栓金具を使用した場合、使用水道圧(流動時動水圧)が低下します。使用水道圧(流動時動水圧)を測定する場合は、必ず同時使用状態で最低使用水道圧(流動時動水圧)が確保されているかをご確認ください。
- 上水道でのみご使用ください。井戸水(地下水)を使用された場合、商品の故障の原因となります。
- 水洗便器の施工に際しては、下水道への放流の場合、自治体の指定業者でなければできませんのでご注意ください。弊社営業所、または販売店にご相談ください。
- 向かって右に給水位置がある場合、オプションの延長給水ホースが必要となります。

長さ	品番
1 m	CH100R01

※右給水の場合、50 cmの延長給水ホース(CH100R02)では長さが足りません。

〈床工事関連の注意事項〉

- 2階以上に設置の場合には、トイレ床面の防水工事をおすすめします。
- 床仕上げは必ず水平にしてください。床面が水平でない場合は、便器がぐらついたり水漏れするおそれがあります。
- 便器を取り付ける床面の強度が十分(24 mm厚以上の合板)でない場合、24 mm厚以上の合板で床面を補強してください。

〈その他〉

- 必ず指定の止水栓をお使いください。止水栓は壁給水・床給水兼用です。
- アプリ対応なしのリモコンでは、次のような場合に動作に影響するおそれがあります。
【直射日光が本体受信部・リモコン発信部に当たっている場合】
直射日光をカーテンなどで遮断してください。
【壁紙や天井が黒色や濃い色の場合】
リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。
製品の納入前に必ず現場をご確認ください。
【同室で2台以上並べて設置される場合】
隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。壁を天井までつなげてください。もしくは、リモコン信号を変更できますので、お買い上げの販売店までご相談ください。
- アームレストは、車いすをご利用の方や介護の必要な方向けではありません。このような場合は、専用の補助具をお使いください。
- タイル床仕様、タイプ9以外は水洗い掃除ができる床には設置することができません。商品の故障の原因となります。
- トイレ用床材(木質床材、クッションフロアなど)の選定に当たっては、耐水・耐アンモニア性に十分配慮ください。床に滴下した小便が便器と床材のすき間に進入し床に染みが発生することがあります。
- 製品の使用温度範囲は0~40℃です。必ず指定の温度環境で設置してください。
- 扉開閉時に扉が便器に当たらない位置に設置してください。
- 直射日光や強いライトが製品にあたる位置への設置はお避けください。製品が変色したり劣化したりするおそれがあります。
- 2階以上に設置する場合、排水管内の圧力の影響を緩和するために、通気管を設けることをおすすめします。
- 検査時の残水が凍結している場合がありますので、温めてから施工してください。
- リモコンは指定の範囲内に取り付けてください。
- 「アラウーノアプリ」のサービスのご利用には、スマートフォンと専用のアプリケーション、Wi-Fi環境が必要です。

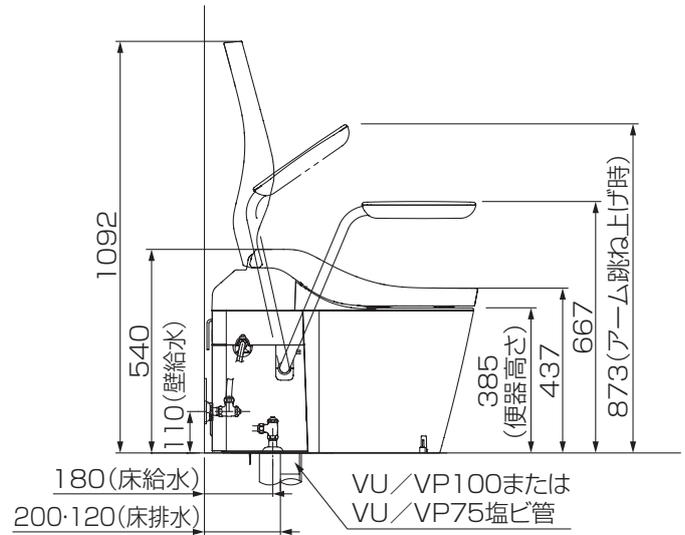
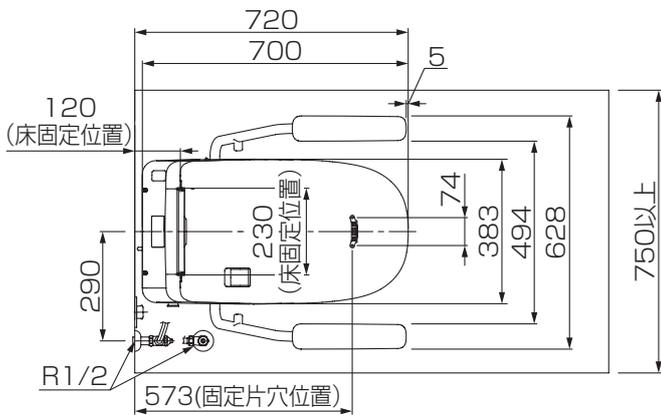
改訂履歴

改訂年月	改訂ページ	改訂内容

寸法図

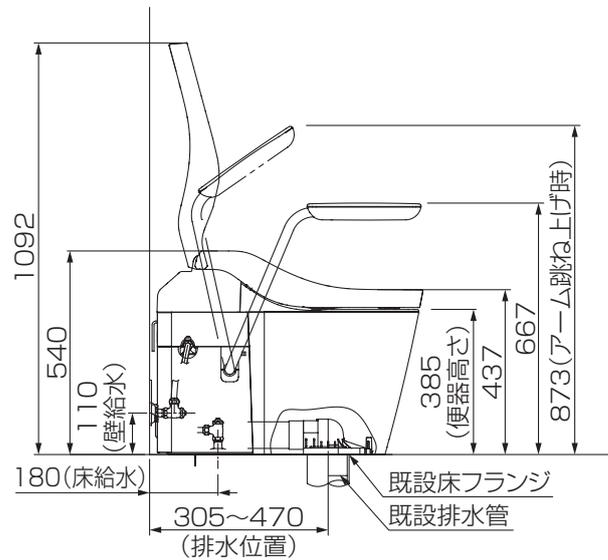
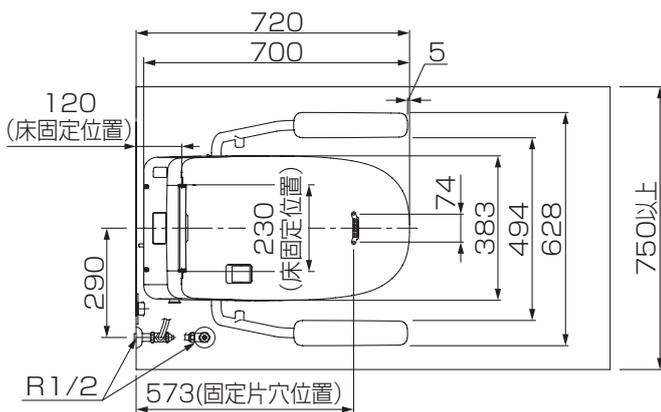
〔寸法単位：mm〕

標準タイプ

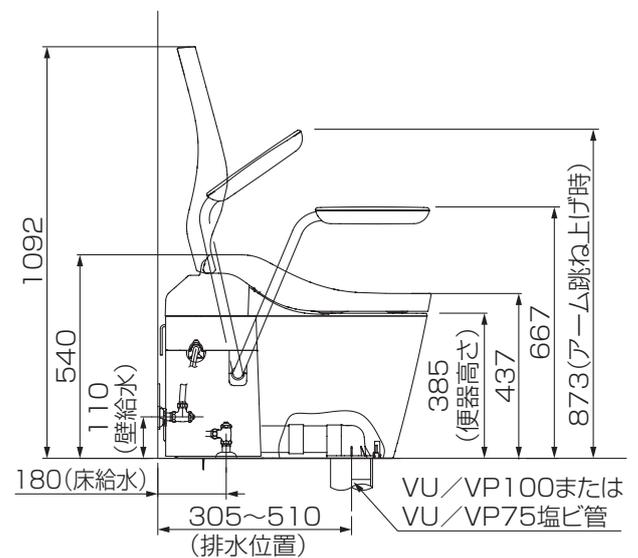
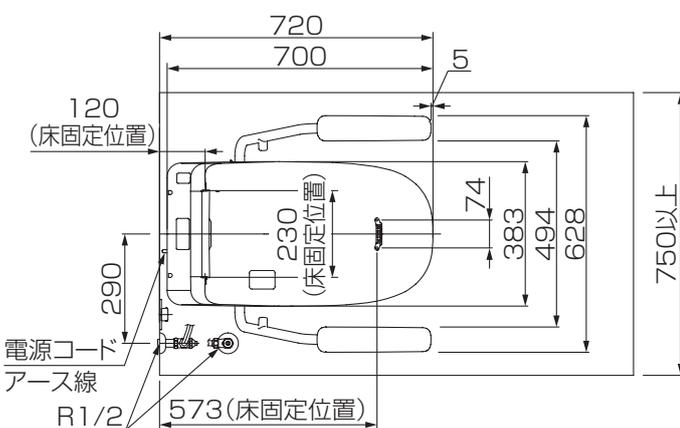


施工前

リフォームタイプ



リフォームダイレクトタイプ

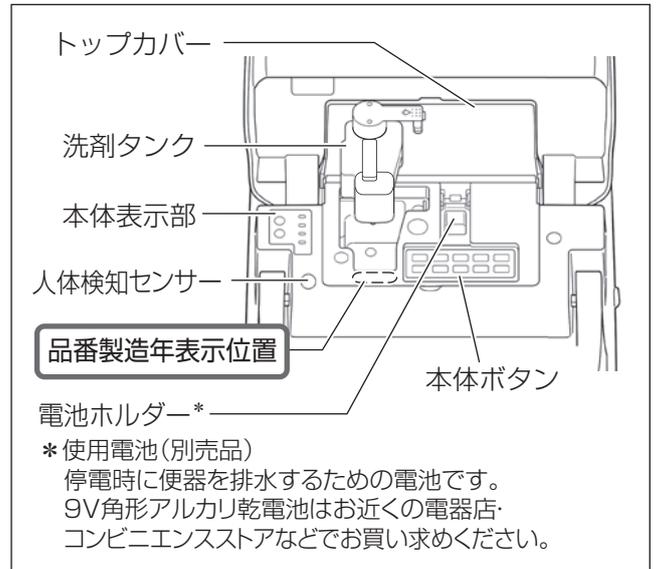
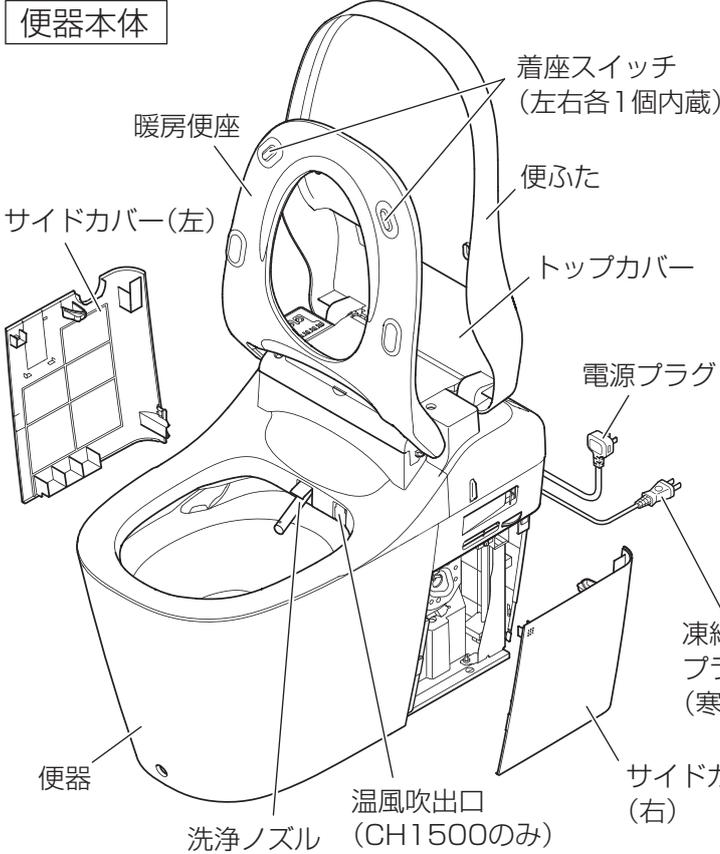


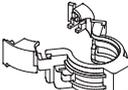
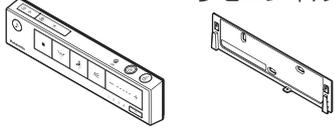
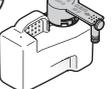
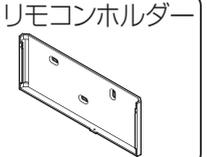
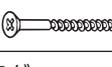
※給水可能範囲については、10ページを参照してください。

各部の名前と部品表

●施工前に同梱部品を必ず確認してください。

施工前に



部品名	入り数	部品名	入り数	部品名	入り数
便器本体	1	クイックファスナー 	1	スティックリモコンの場合 (「アプリ対応あり」のみ)	1
洗剤	1	アプセットタッピンねじ φ6×45 	2	リモコンホルダー 	
給水ホース (長さ350mm) パッキン(青)	各1	平座金 (6×16×1.0) 	2	単3形アルカリ 乾電池 	2
洗剤タンク 	1	なべタッピンねじ φ5×60 	1	フラットリモコンの場合	1
説明書セット*2 取扱説明書  施工説明書(本書)  保証書*3 	1	前固定穴 キャップ 	1	リモコンホルダー 	
	1	皿ねじ φ3.5×16 	3	リモコン発信部 (「アプリ対応なし」のみ)	
	1	皿ねじ φ3.5×38 	3	単4形アルカリ 乾電池 	3
	1	アンカープラグ 	3		
		イタズラ防止ねじ*1 M2×6 	1		

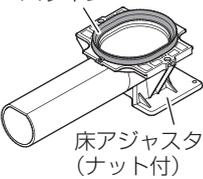
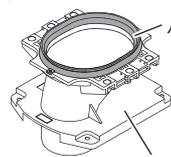
*1…このねじはタイプ9のみ使用できます。タイプ9の便器を設置する場合、お客様と十分ご相談のうえ、イタズラ防止が必要な場合のみ、精密ドライバーでねじを取り付けてください。(固定方法は28ページを参照してください。)

*2…タイプ9は、「リモコンの使いかたガイド」が同梱されています。

*3…タイプ9は、取扱説明書に保証書付き。

配管セット(別売品)

施工前に

<p>標準タイプ</p> <p>品番 CH150F</p>	 <p>パッキン</p> <p>床フランジ (ナット付き)</p> <p>VU75用 リング</p> <p>VP100用 リング</p> <p>VU100用 リング</p> <p>トラスタッピンねじ φ5×35</p> <p>六角ボルト M8×30</p> <p>平座金 (8.5×18×1.2)</p> <p>標準用型紙</p> <p>固定片</p> <p>止水栓セット</p> <p>トラスタッピンねじ φ5×35</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p>
<p>リフォームタイプ</p> <p>品番 CH150FR</p>	 <p>パッキン</p> <p>床アジャスタ (ナット付)</p> <p>六角ボルト M8×30</p> <p>平座金 (8.5×18×1.2)</p> <p>床フランジ 接続部*4</p> <p>T形ボルト φ5×35</p> <p>平座金 (8.5×22×1.5)</p> <p>ナット M8</p> <p>トラスタッピンねじ φ5×35</p> <p>ソケット</p> <p>Pシール</p> <p>※排水位置が411 ~470の場合は ソケットが必要</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p>
<p>リフォーム ダイレクトタイプ</p> <p>品番 CH150FW</p>	 <p>パッキン</p> <p>床アジャスタ (ナット付)</p> <p>VU75用 リング</p> <p>VP100用 リング</p> <p>VU100用 リング</p> <p>六角ボルト M8×30</p> <p>平座金 (8.5×18×1.2)</p> <p>床フランジ 接続部</p> <p>トラスタッピンねじ φ5×35</p> <p>ソケット</p> <p>平座金 (5.5×12×0.8)</p> <p>※排水位置が 411~510の 場合はソケットが 必要です</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p>
<p>マルチタイプ</p> <p>品番 CH150FM</p>	<p>床フランジセット</p>  <p>パッキン</p> <p>床フランジ(ナット付き)</p> <p>VU75用 リング</p> <p>VP100用 リング</p> <p>VU100用 リング</p> <p>トラスタッピンねじ φ5×35</p> <p>六角ボルト M8×30</p> <p>平座金 (8.5×18×1.2)</p> <p>標準用 型紙</p> <p>止水栓 セット</p> <p>床アジャスタセット</p>  <p>パッキン</p> <p>床アジャスタ(ナット付)</p> <p>六角ボルト M8×30</p> <p>平座金 (8.5×18×1.2)</p> <p>床フランジ 接続部*4</p> <p>T形ボルト φ5×35</p> <p>平座金 (8.5×22×1.5)</p> <p>ナット M8</p> <p>トラスタッピンねじ φ5×35</p> <p>ソケット</p> <p>Pシール</p> <p>※排水位置が411 ~470の場合は ソケットが必要</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p>

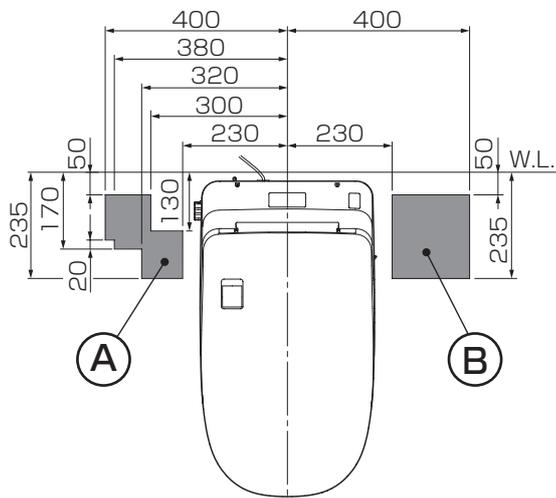
*4…新築や、既設の床フランジの損傷が激しい場合は、別途アラウーノリフォーム用既設床フランジ(CH120FR01)を手配してください。

給水位置の確認と止水栓の取り付け (寸法単位：mm)

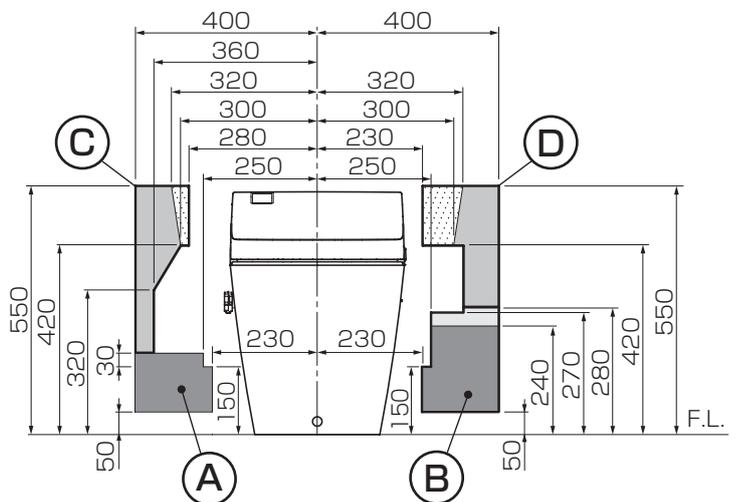
給水位置の確認

既設給水位置が下図の給水可能範囲内であることを確認する

●床給水の場合



●壁給水の場合



記号	説明	記号	説明
(A)	付属の給水ホースのみを使用した場合の給水接続可能位置 ※「アラウーノ専用手洗い」の左設置は可能です。	(C)	付属の給水ホースのみを使用した場合の給水接続可能位置 ※「アラウーノ専用手洗い」の左設置はできません。 ※  は、アームレストの取り付けができません。 (止水栓と干渉するため)
(B)	オプションの延長給水ホース(長さ1 m、品番:CH100R01)を使用した場合の給水接続可能位置 ※「アラウーノ専用手洗い」の右設置は可能です。 ※  アラウーノ専用手洗い連動水栓(R勝手)併設の場合取り付け不可。アラウーノ専用手洗い(R勝手)併設でオプションの配管カバーを取り付けの場合、取り付け不可。	(D)	オプションの延長給水ホース(長さ1 m、品番:CH100R01)を使用した場合の給水接続可能位置 ※「アラウーノ専用手洗い」の右設置はできません。 ※  は、アームレストの取り付けができません。 (止水栓と干渉するため)

※右給水の場合、50 cmの延長給水ホース(CH100R02)では長さが足りません。

止水栓の取り付け

水道の元栓を閉め、同梱の止水栓を取り付ける

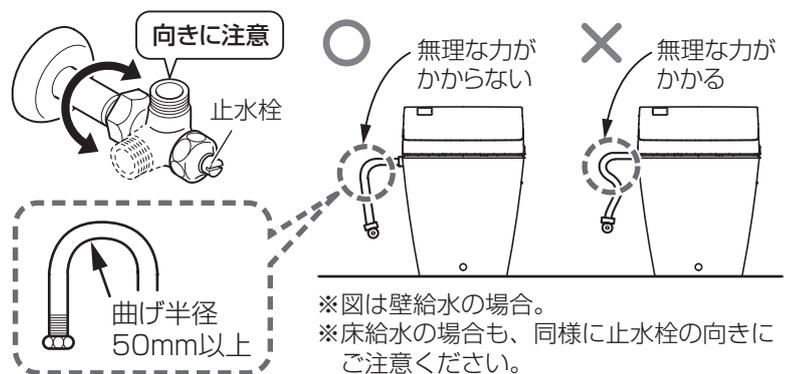
⚠ 注意

必ず守る

- 止水栓にがたつきがないことを確認する
- 止水栓は必ず閉める
水漏れの原因になります。

お願い

- 必ず同梱の止水栓を使用してください。
他の止水栓を使用すると、便器洗浄性能を損なう原因になります。
- 止水栓の向きに注意し、給水ホースがねじれたり折れたりしないよう、注意して取り付けてください。
便器洗浄水量が不足する原因になります。



※図は壁給水の場合。
※床給水の場合も、同様に止水栓の向きにご確認ください。

標準タイプ ▶ 11ページへすすんでください。

リフォームタイプ ▶ 16ページへすすんでください。

リフォームダイレクトタイプ ▶ 21ページへすすんでください。

標準タイプの取り付け

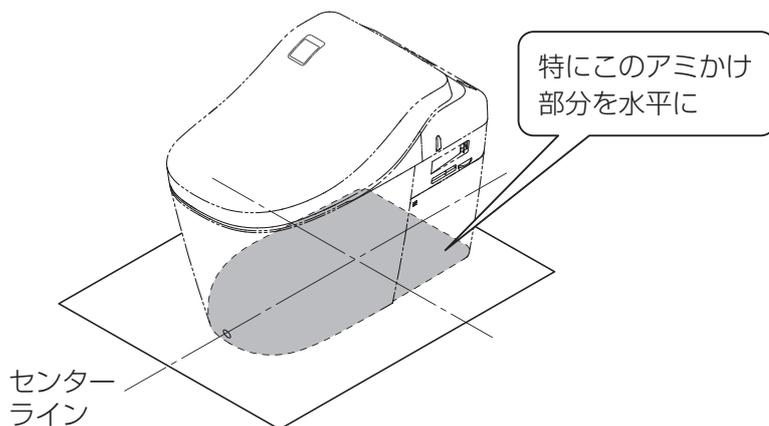
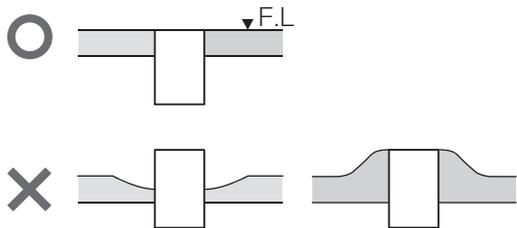
〔寸法単位：mm〕

- 標準タイプの場合に参照してください。リフォームタイプは16ページ、リフォームダイレクトタイプは21ページを参照してください。

床工事

床面を水平に仕上げる

- お願い** 排水管周囲は、凹凸がないようにしてください。
施工不良の原因になります。



標準タイプ

⚠ 注意



必ず守る

- 床面は、水平に施工する
凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。
- 便器を取り付ける床面は24mm厚以上の合板を使用する
水漏れや転倒によるけがなどの原因になります。

手洗いを設置する場合は、ここで手洗いを取り付けてください(手洗いに同梱の施工説明書を参照) **オプション**

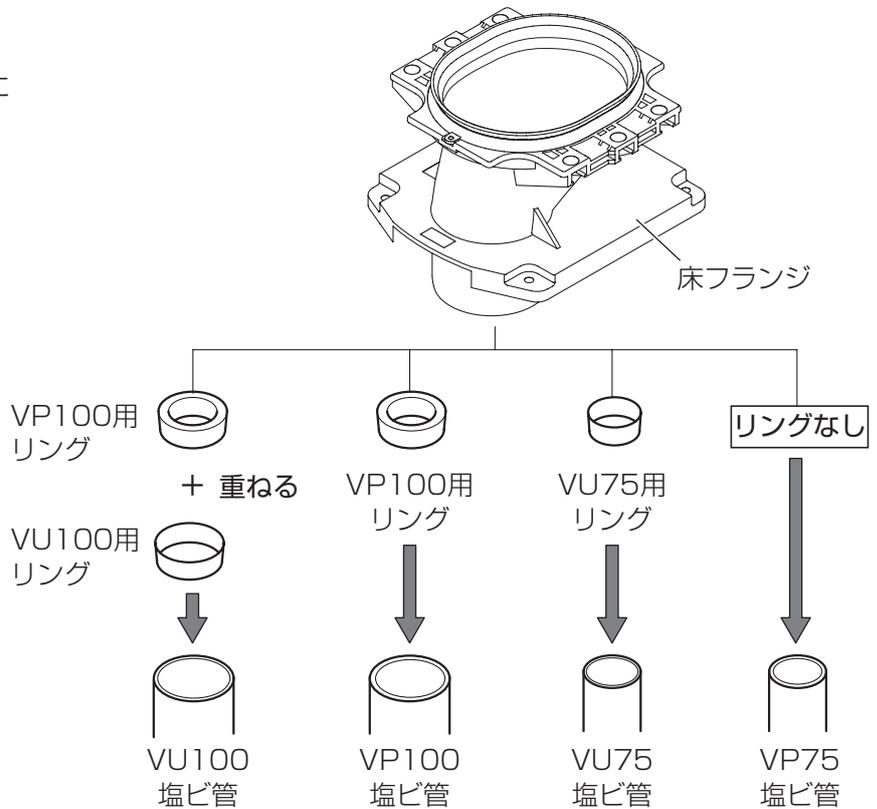
床フランジとリングの取り付け

1 排水管に適合するリングを選ぶ

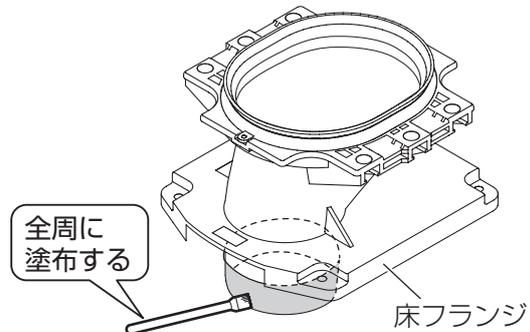
(VU/VP100用リングは、床フランジに仮固定されています。)

※下図組み合わせにないリングは使用しません。

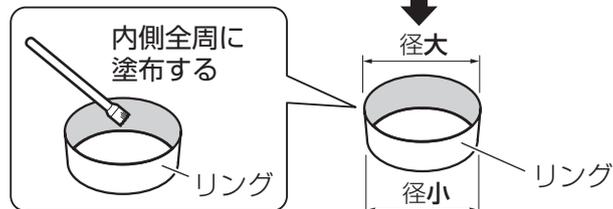
VU75用 リング	
VP100用 リング	
VU100用 リング	



2 リング内側全周、および床フランジの差し込み部全周に塩ビ用接着剤を塗る (塩ビ用接着剤は別途手配ください。)



3 リングの径の小さい方を下側にし、床フランジをリングに差し込み、接着する



⚠ 注意



必ず守る

●リングとの接着は、排水管・リングの種類の適合、接着向きを正しく行う、また、塩ビ用接着剤を接着面全周に塗り、奥まで十分接着する
床フランジ部からの水漏れ、臭気もれの原因になります。

●床フランジ内にリングを同梱しているため、必ず床フランジからリングを取り除いて設置する
床フランジ内にリングが残ったまま設置すると、排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。

床フランジの取り付け

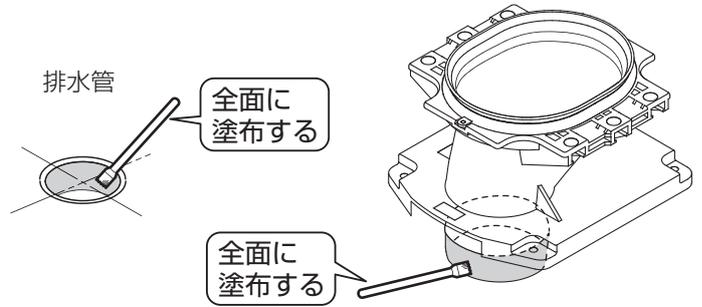
ねじ固定前に下穴（φ3程度）を開けると作業しやすくなります。
（床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。）

1 排水管を床面と面一になるように切断する



2 排水管・床フランジに塩ビ用接着剤を塗布する

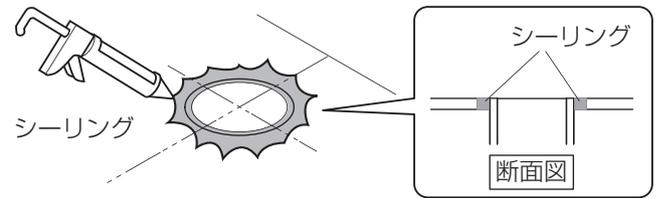
3 2階以上のトイレルームの場合は、排水管のまわりをシーリング防水する



⚠ 注意

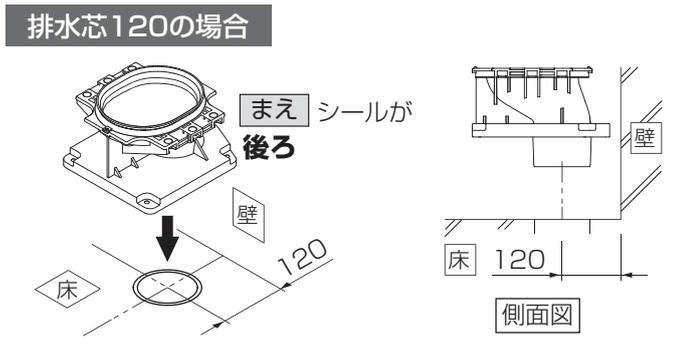
必ず守る

- 2階以上のトイレルームに設置するときは、必ず排水管まわりにシーリングを行う
階下への水漏れのおそれがあります。
- 排水管や既設の床フランジの破片を排水管内に落としていないかを確認する
排水詰まりの原因になります。



4 床フランジをセンターラインに合わせて、床面にあたるまで差し込み、排水管と接着する

■床フランジの取り付け向きについて



5 ねじで床フランジを固定する

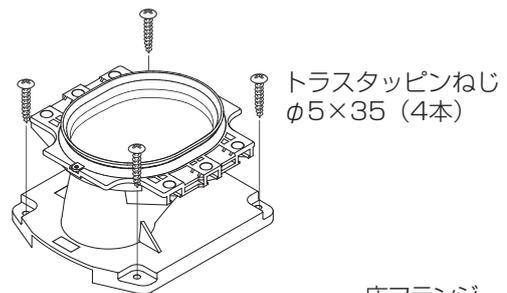
⚠ 注意

禁止

床フランジを無理な力で固定しない
また、割れたまま使用しない
水漏れの原因になります。

必ず守る

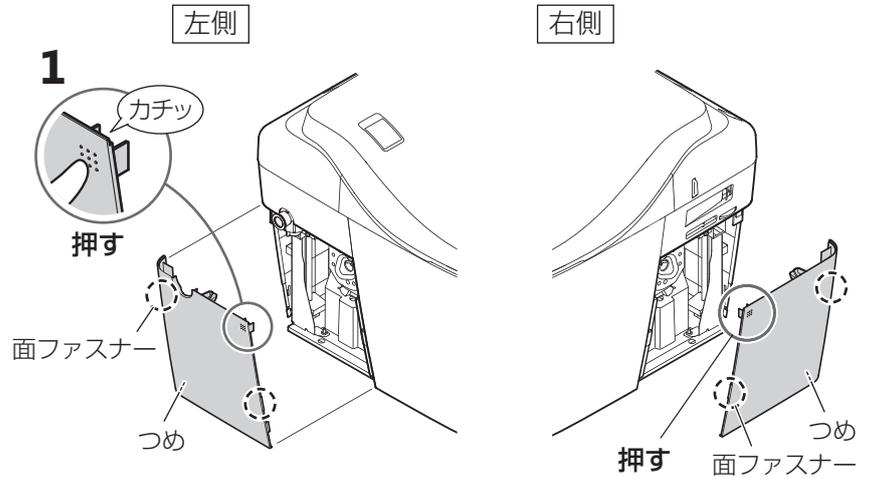
床フランジが床からの浮きや、がたつきがないようにしっかりと4か所を締めつける
便器がぐらついたり、水漏れのおそれがあります。



お願い
床フランジは、フランジ部が必ず床仕上げ面の上に乗るようにしてください。

サイドカバーの取り外し

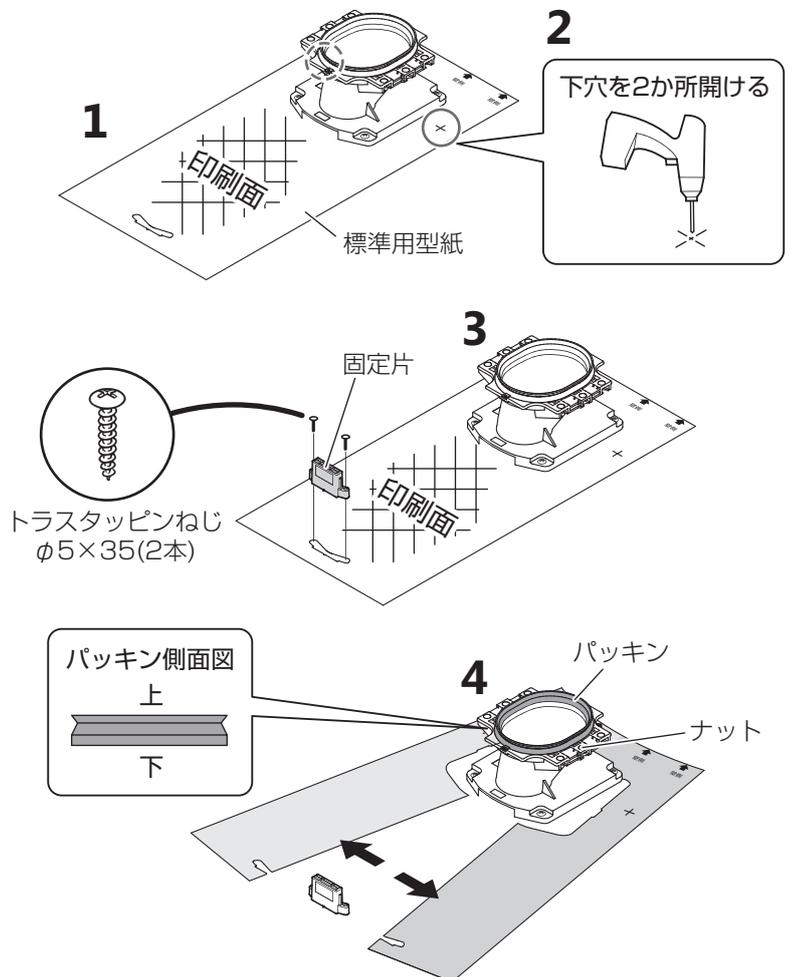
- 1 サイドカバーの  部を押す
- 2 すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す
(面ファスナー2か所と、つめ1か所を外す。)



便器の取り付け

ねじ固定前に下穴 (φ3程度) を開けると作業しやすくなります。
(床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。)

- 1 標準用型紙を床フランジの形状に合わせて置く
- 2 床固定位置にφ3の下穴を2か所開ける
- 3 固定片を標準用型紙の切り欠き部にはめ、ねじで固定する
- 4 標準用型紙を破って取り外す
- 5 床フランジの上部にパッキンおよびナットが外れていないことを確認する



⚠ 注意



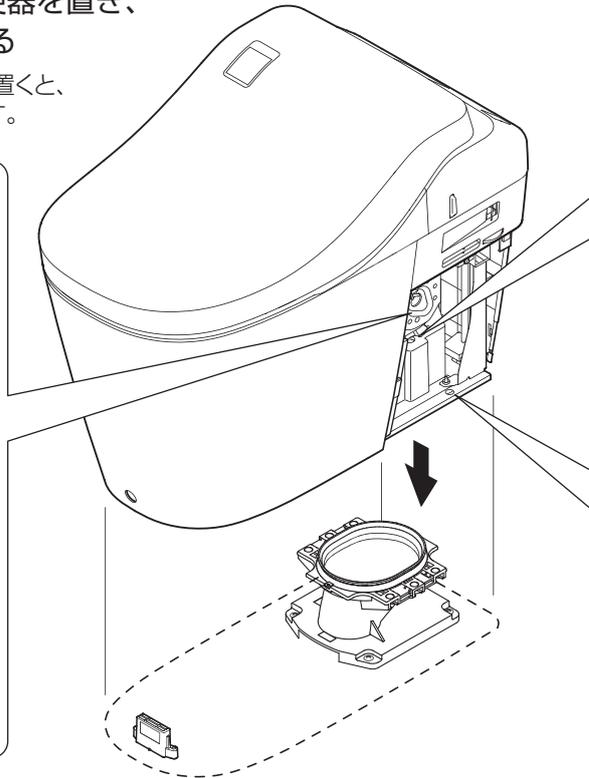
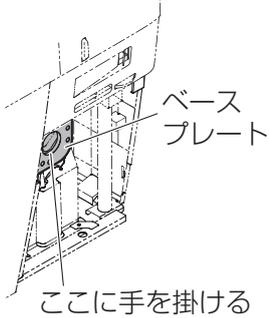
パッキンの上下の向きを確認する
必ず守る 水漏れの原因となります。

6 床フランジの上から便器を置き、 ①、②の順に固定する

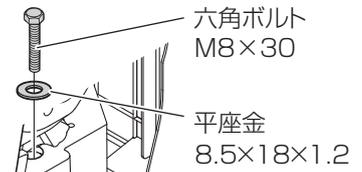
※便器を床フランジの上に置くと、
約10mm便器が浮きます。

お願い

便器を持つときは
両側からベース
プレートに手を掛けて
持ち上げてください。

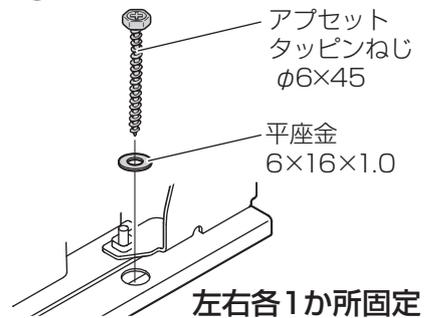


① 本体と床のフランジ固定



左右各1か所固定

② 本体と床の固定



左右各1か所固定

警告



禁止

便器を取り付けるときは、
電源コードやアース線は
はさみ込まない
火災や感電の原因になります。

注意



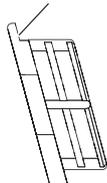
必ず守る

便器本体と床を固定する金属フレームと床との間に
すき間がなくなるまで締め付ける

便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。便器を置いた
ままですらすらと、パッキンがねじれ水漏れの原因になります。

7 前方よりねじを締め付け、前固定穴 キャップを取り付ける

切り欠きが上



お願い

ねじが空回りしないように、ゆっくりと
締め付けてください。

前固定穴
キャップ

なべタッピングねじ
φ5×60 (1本)

26ページの「止水栓への接続」へすすんでください。

リフォームタイプの取り付け

〔寸法単位：mm〕

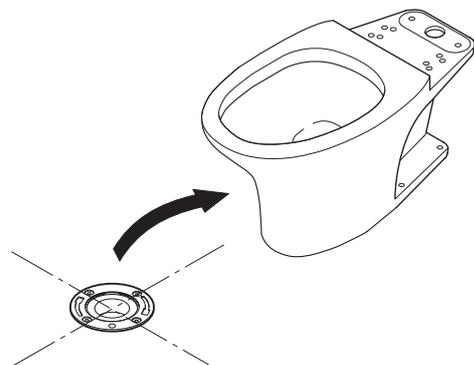
はじめに10ページの「給水位置の確認」「止水栓の取り付け」を確認してください。

既設便器の取り外し

- 1 既設の便器を取り外す
- 2 既設Pシールまたは既設パッキンをきれいに取り除く
- 3 排水管の中心線を床にけがく

お願い 下記の場合は、アラウーノリフォーム用既設床フランジ(CH120FR01)を別途用意し、配管セット(CH150FRもしくはCH150FM)に同梱しているPシールを使用してください。(18ページ「排水アジャスタの組み立て」参照)

- ①既設の便器が床フランジを用いないタイプの場合
- ②既設の便器がPシールを用いないタイプの場合
- ③床フランジの損傷が激しい場合



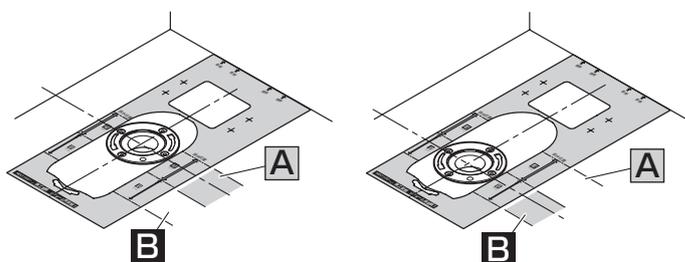
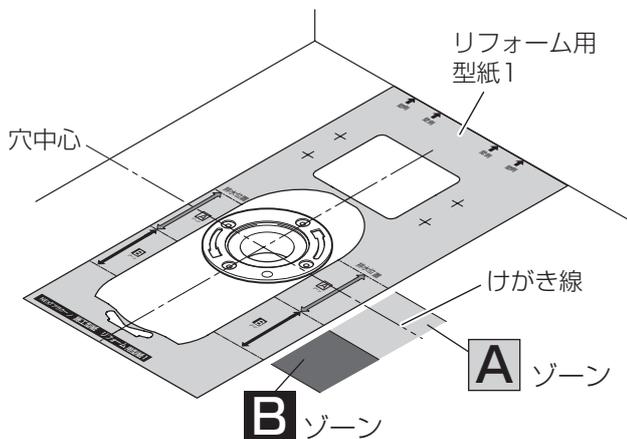
手洗いを設置する場合は、ここで手洗いを取り付けてください(手洗いに同梱の施工説明書を参照) **オプション**

床アジャスタの切断

※排水芯470mmの場合も、床アジャスタの切断が必要です。

リフォーム用型紙1を壁にそわせて置き、排水芯の位置を確認する

お願い **A**、**B**ゾーンのどちらに該当するか必ず確認してください。

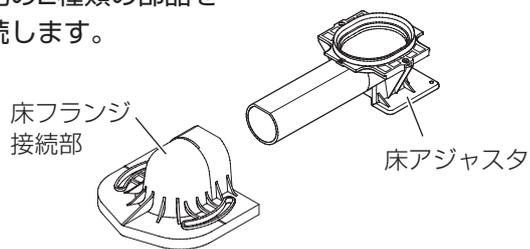


- 排水芯が470mmより大きい場合は、型紙の排水対応範囲に既設の排水位置が入るように型紙を置いてください。
- 専用手洗いユニットの10cm前出しタイプを取り付ける場合は、壁から100mm離して置いてください。

排水芯位置によって施工方法が異なります

けがき線が型紙1の **A** ゾーンの場合

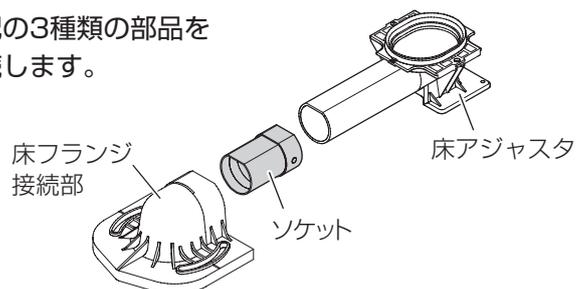
下記の2種類の部品を接続します。



次ページの **A** を参照し、施工してください。

けがき線が型紙1の **B** ゾーンの場合

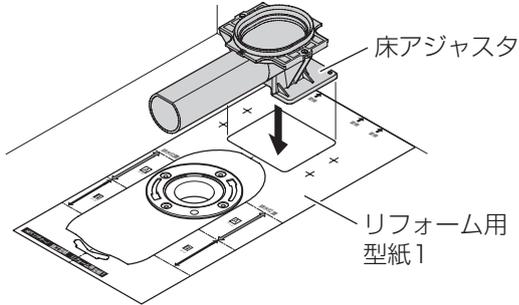
下記の3種類の部品を接続します。



次ページの **B** を参照し、施工してください。

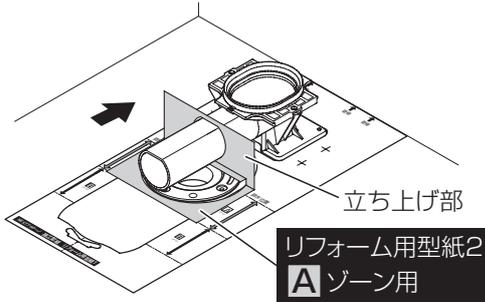
けがき線が型紙1の **A** ゾーンの場合

1 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする

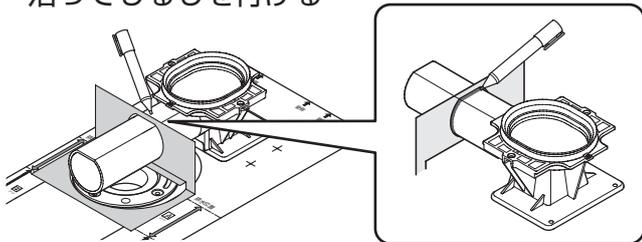


2 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

3 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Aゾーン用)を差し込み、既設の床フランジに合わせて設置する

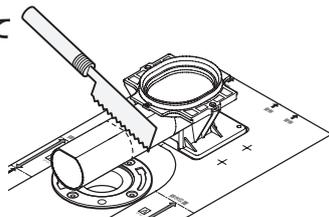


4 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



5 リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する

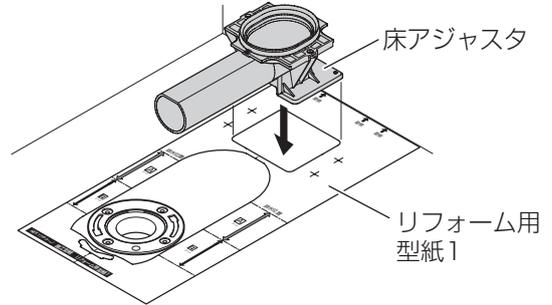
しるしに沿って
切断する



※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

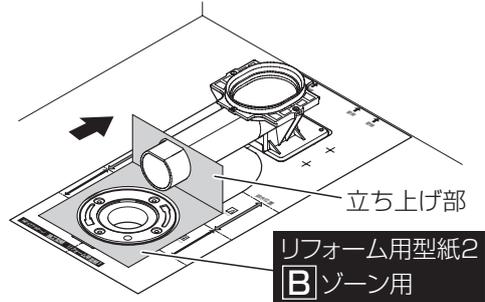
けがき線が型紙1の **B** ゾーンの場合

1 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする

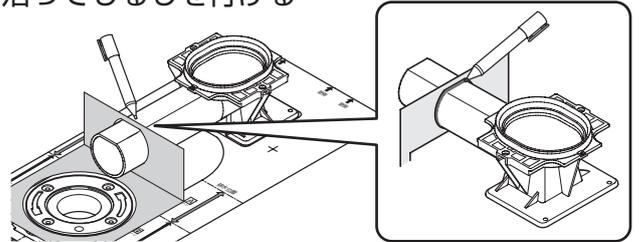


2 リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

3 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Bゾーン用)を差し込み、既設の床フランジに合わせて設置する

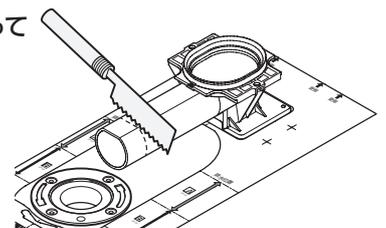


4 リフォーム用型紙2(Bゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



5 リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する

しるしに沿って
切断する



※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

注意



床アジャスタを切断後は端部のバリ、汚れを完全に取り除く
バリや汚れが付着したまま接着すると水漏れの原因になります。

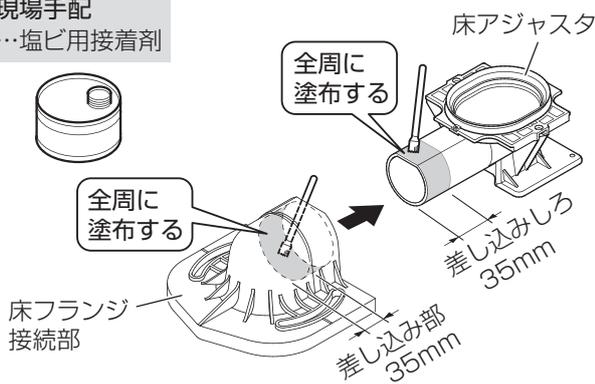
排水アジャスタの組み立て

けがき線が型紙1の **A** ゾーンの場合

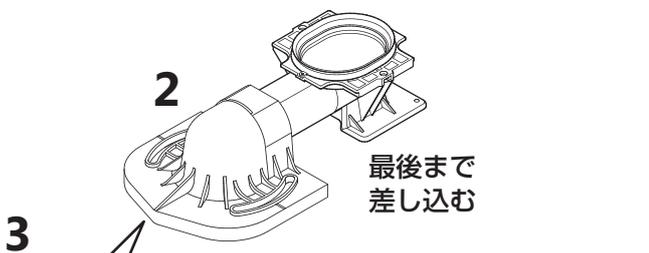
- 1 床フランジ接続部の差し込み部と、床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗布する

現場手配

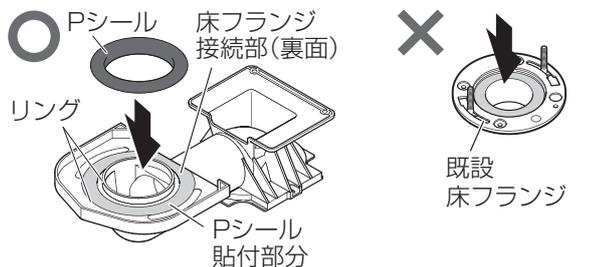
…塩ビ用接着剤



- 2 床アジャスタを床フランジ接続部に差し込む
- 3 Pシールを床フランジ接続部裏側にセットする



Pシールは、必ず2本のリング線の間に貼り付ける。はりつけが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み洗浄不良の原因となります。



排水アジャスタ側に付ける

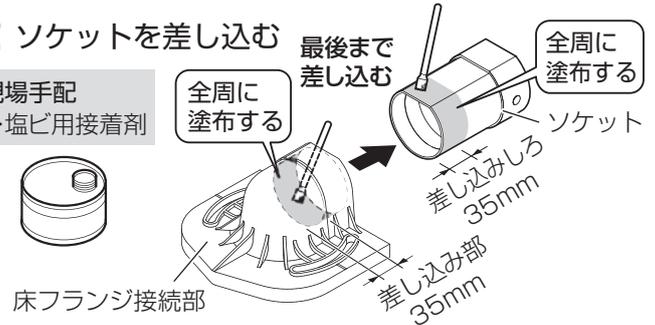
床フランジ側に付けない

けがき線が型紙1の **B** ゾーンの場合

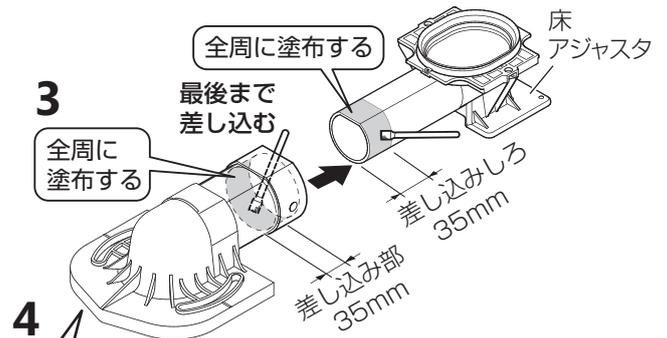
- 1 床フランジ接続部の差し込み部とソケットの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗る

現場手配

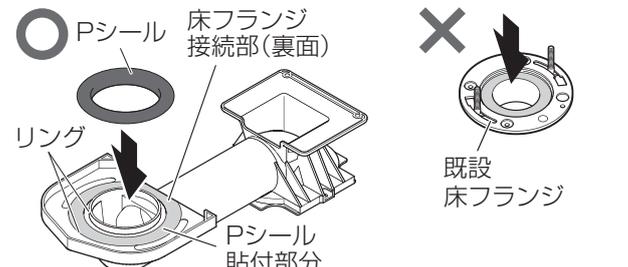
…塩ビ用接着剤



- 2 ソケットを差し込む
- 3 ソケット差し込み部と床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用の接着剤を塗り、組み立てる
- 4 Pシールを床フランジ接続部裏側にセットする



Pシールは、必ず2本のリング線の間に貼り付ける。はりつけが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み洗浄不良の原因となります。



排水アジャスタ側に付ける

床フランジ側に付けない

⚠ 注意



禁止

Pシールを二重で使用したり、排水管にはみ出した状態で施工しない

排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。



必ず守る

●排水アジャスタの接着は、接着面全周に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分押し込んで接着する

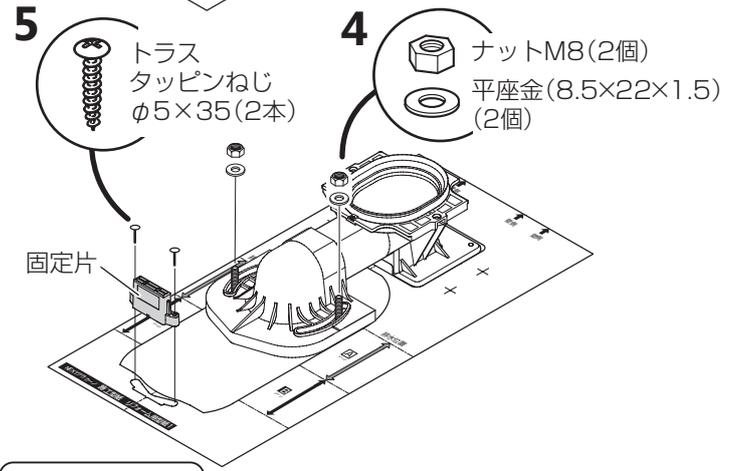
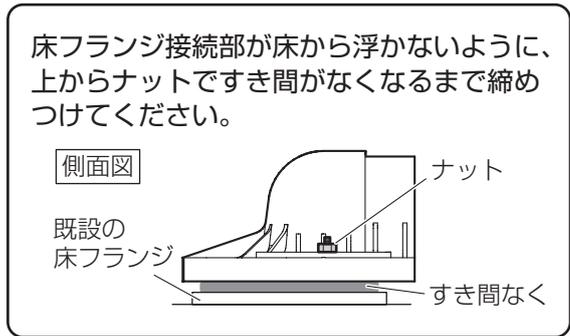
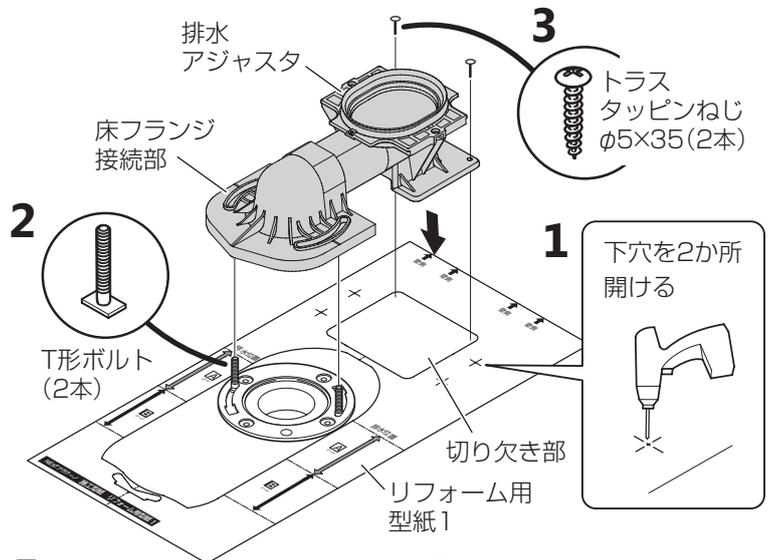
施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

●Pシールは2本のリング線の間に収まるよう、押し広げながら貼り付ける
シール不良による水漏れの原因になります。また、Pシールが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み、排水不良になります。

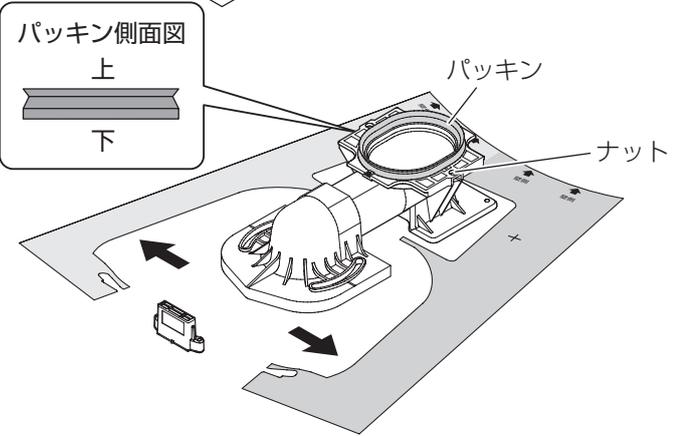
排水アジャスタの取り付け

ねじ固定前に下穴（φ3程度）を開けると作業しやすくなります。
（床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。）

- 1 リフォーム用型紙1の床固定位置にφ3の下穴を2か所開ける
- 2 既設の床フランジにT形ボルトを取り付ける
- 3 リフォーム用型紙1の切り欠き部に合わせて排水アジャスタを設置し、ねじで固定する
- 4 床フランジ接続部の上からナットで締め付ける



- 5 固定片をリフォーム用型紙1の切り欠き部にはめ、ねじで固定する
- 6 排水アジャスタ上部にパッキン、ナットが取り付けられていることを確認する
※向かって右側に給水位置がある場合は、便器を設置する前に延長給水ホースを壁にそって仮置きしてください。



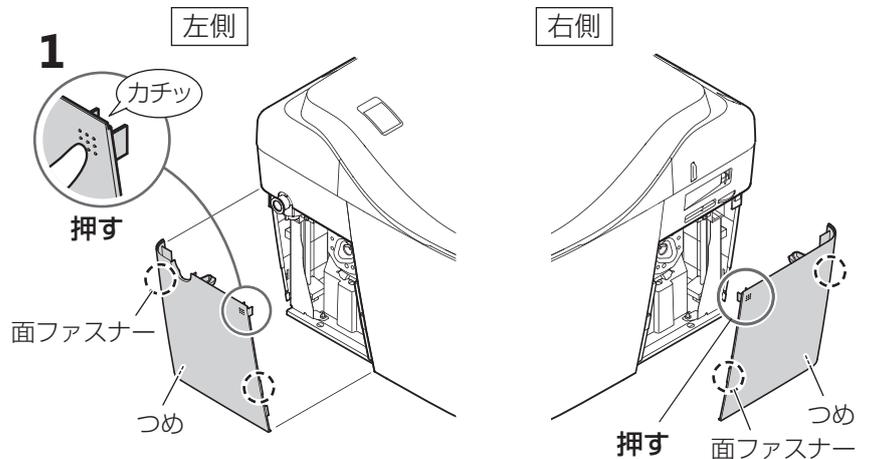
⚠ 注意	
❗	排水アジャスタが床から浮いたり、がたつかないように床フランジ接続部のナット(2か所)をしっかりと締めつける
必ず守る	水漏れの原因となります。
❗	パッキンの上下の向きを確認する
必ず守る	水漏れの原因となります。

リフォームタイプ

サイドカバーの取り外し

1 サイドカバーの  部を押す

2 すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す
(面ファスナー2か所と、つめ1か所を外す。)



便器の取り付け

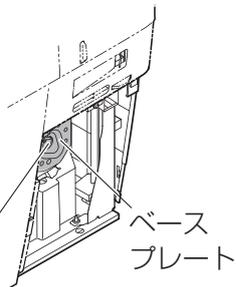
1 排水アジャスタの上から便器を置き、
①、②の順で固定する

※便器を排水アジャスタの上に置くと、
約10mm便器が浮きます。

お願い

便器を持つときは
両側からベース
プレートに手を掛けて
持ち上げてください。

ここに手を掛ける

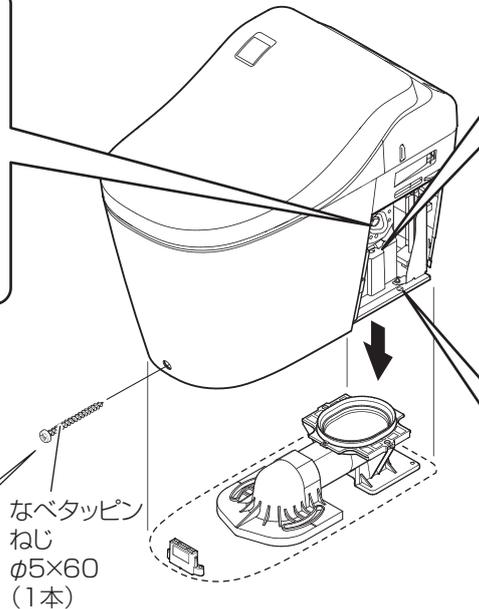


2 前方よりねじを締め付け、前固定穴
キャップを取り付ける



前固定穴
キャップ

なべタッピン
ねじ
φ5×60
(1本)



① 本体と排水アジャスター
の固定

六角ボルト
M8×30
平座金
8.5×18×1.2

左右各1か所固定

② 本体と床の固定

アプセット
タッピンねじ
φ6×45
平座金
6×16×1.0

左右
各1か所固定

お願い ねじが空回りしないように、ゆっくりと
締め付けてください。

警告



禁止

便器を取り付けるときは、
電源コードやアース線を
はさみ込まない
火災や感電の原因になります。

注意



必ず守る

便器本体と床を固定する金属フレームと床との間に
すき間がなくなるまで締め付ける

便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。便器を置いた
ままですらと、パッキンがねじれ水漏れの原因になります。

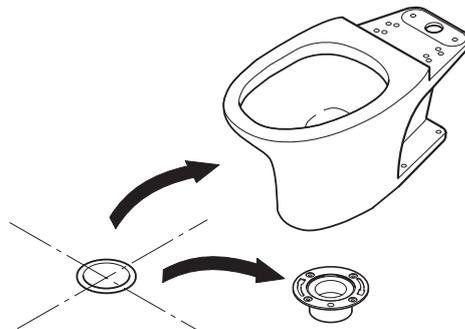
26ページの「止水栓への接続」へすすんでください。

リフォームダイレクトタイプの取り付け 〔寸法単位：mm〕

はじめに10ページの「給水位置の確認」「止水栓の取り付け」を確認してください。

既設便器の取り外し

- 1 既設の便器を取り外す
- 2 既設床フランジをきれいに取り除く
床面は水平に仕上げてください。(11ページ「床工事」参照)
- 3 排水管の中心線を床にけがく



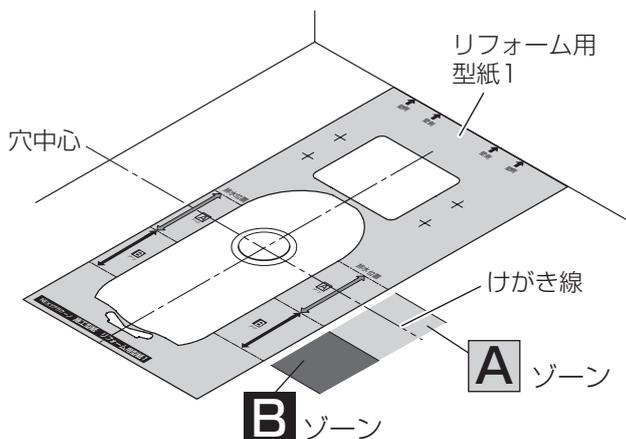
⚠ 注意

必ず守る 排水管や既設の床フランジの破片を排水管内に落としていないかを確認する
排水詰まりの原因になります。

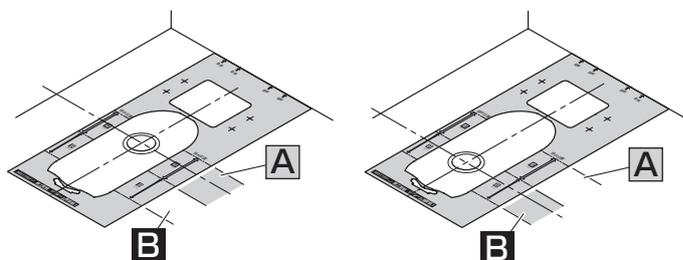
手洗いを設置する場合は、ここで手洗いを取り付けてください(手洗いに同梱の施工説明書を参照) **オプション**

床アジャスタの切断

リフォーム用型紙1を壁にそわせて置き、排水芯の位置を確認する



お願い **A**、**B** ゾーンのどちらに該当するか必ず確認してください。

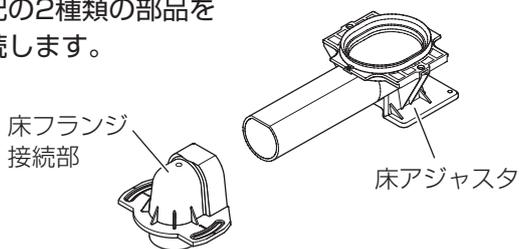


- 排水芯が510mmより大きい場合は、型紙の排水対応範囲に既設の排水位置が入るように型紙を置いてください。
- 専用手洗いユニットの10cm前出しタイプを取り付ける場合は、壁から100mm離して置いてください。

排水芯位置によって施工方法が異なります

けがき線が型紙1の **A** ゾーンの場合

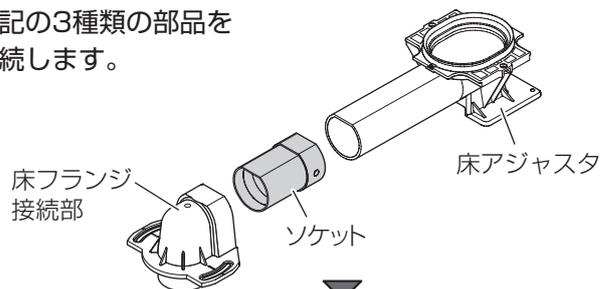
下記の2種類の部品を接続します。



次ページの **A** を参照し、施工してください。

けがき線が型紙1の **B** ゾーンの場合

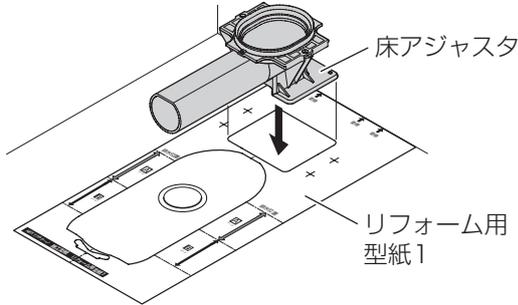
下記の3種類の部品を接続します。



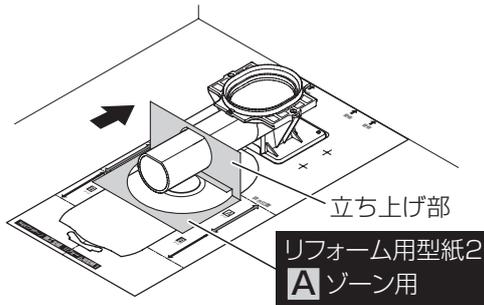
次ページの **B** を参照し、施工してください。

けがき線が型紙1の **A** ゾーンの場合

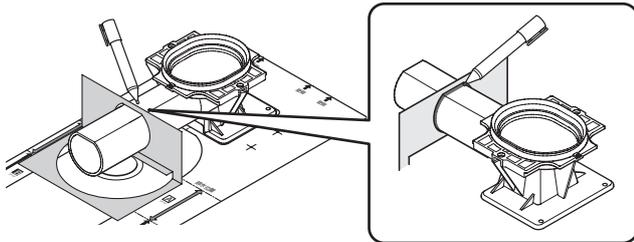
- 1** 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする



- 2** リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる
- 3** 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Aゾーン用)を差し込み、排水管の中心に合わせて設置する

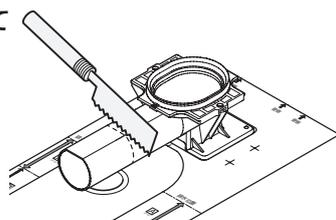


- 4** リフォーム用型紙2(Aゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



- 5** リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する

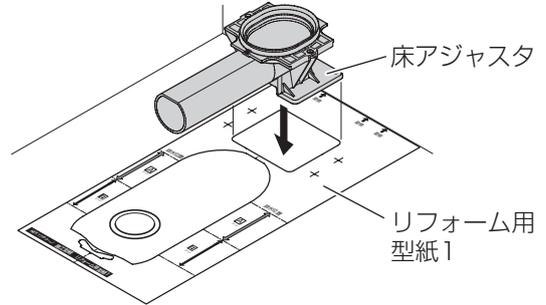
しるしに沿って
切断する



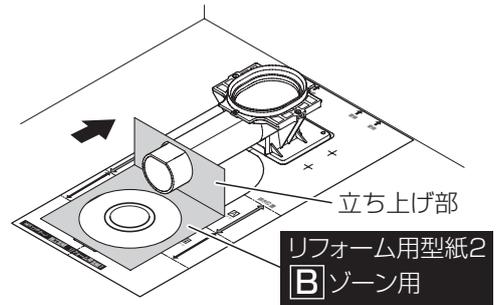
※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

けがき線が型紙1の **B** ゾーンの場合

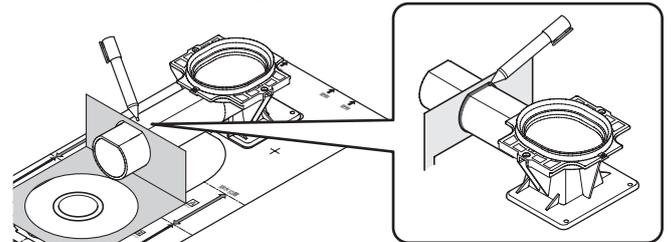
- 1** 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする



- 2** リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる
- 3** 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Bゾーン用)を差し込み、排水管の中心に合わせて設置する

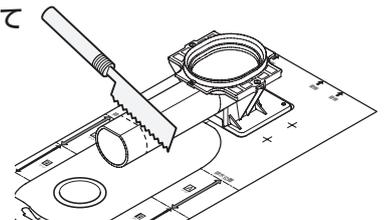


- 4** リフォーム用型紙2(Bゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



- 5** リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する

しるしに沿って
切断する



※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

注意



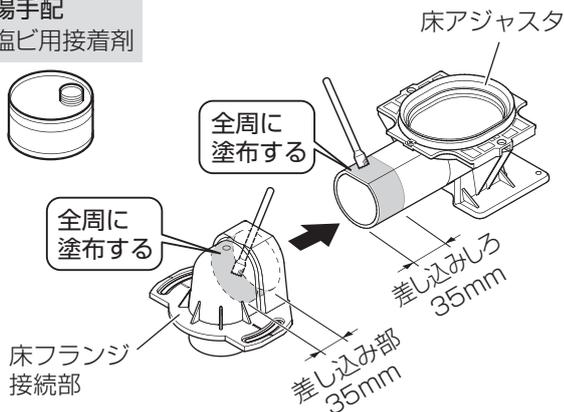
床アジャスタを切断後は端部のバリ、汚れを完全に除去
バリや汚れが付着したまま接着すると水漏れの原因になります。

排水アジャスタの組み立て

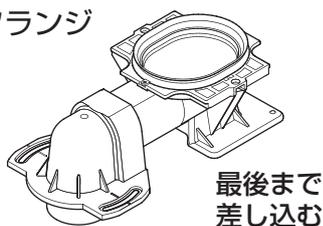
けがき線が型紙1の **A** ゾーンの場合

- 1 床フランジ接続部の差し込み部と、床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗布する

現場手配
…塩ビ用接着剤



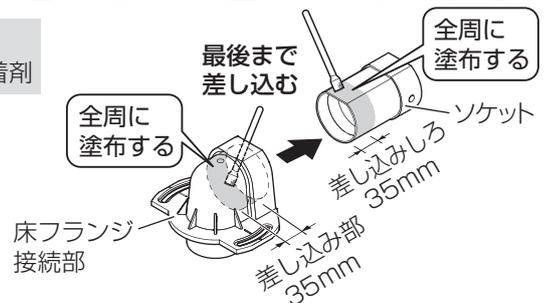
- 2 床アジャスタを床フランジ接続部に差し込む



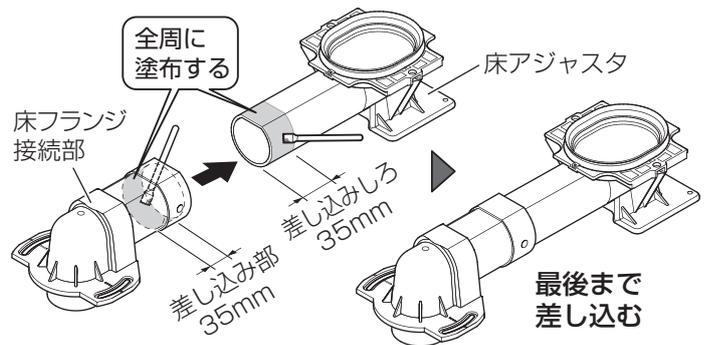
けがき線が型紙1の **B** ゾーンの場合

- 1 床フランジ接続部の差し込み部とソケットの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗り、ソケットを差し込む

現場手配
…塩ビ用接着剤



- 2 ソケット差し込み部と床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用の接着剤を塗り、組み立てる



⚠ 注意



必ず守る

排水アジャスタの接着は、接着面全周に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分押し込んで接着する
施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

排水アジャスタの取り付け

A ゾーン・**B** ゾーン共通

ねじ固定前に下穴(φ3mm程度)を開けると作業しやすくなります。
(床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。)

- 1 排水管に適合するリングを選ぶ

(VU/VP100用リングは、床フランジ接続部に仮固定されています。)

※下図組み合わせにないリングは使用しません。

VU75用 リング 80	VP100用 リング +重なる	VP100用 リング	VU75用 リング	リングなし
VP100用 リング 98	VU100用 リング	↓	↓	↓
VU100用 リング 105		VU100塩ビ管	VP100塩ビ管	VU75塩ビ管
				VP75塩ビ管

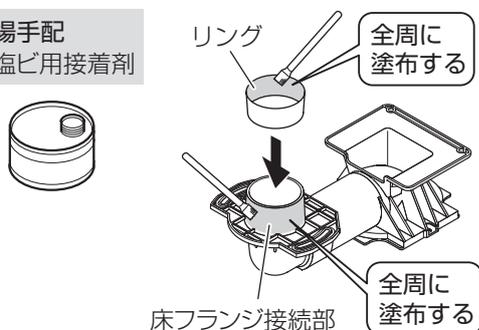
A ゾーン・B ゾーン共通

※イラストはAゾーンの場合です。

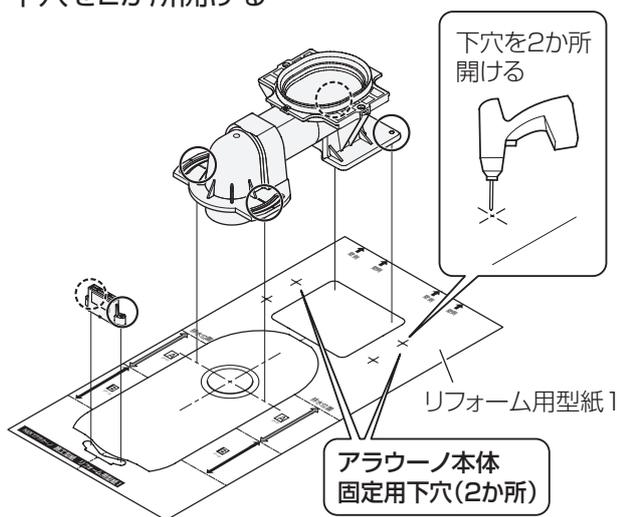
2 床フランジ接続部の差し込み部とリングの内側に塩ビ用接着剤を塗布する

3 床フランジをリングに差し込む

現場手配
…塩ビ用接着剤



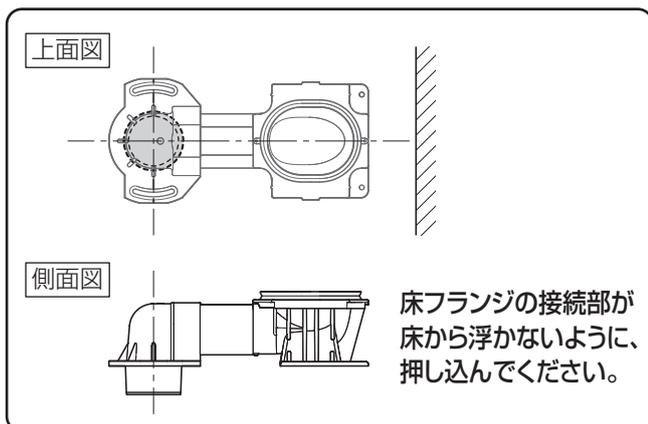
4 リフォーム用型紙1の床固定位置にφ3mmの下穴を2か所開ける



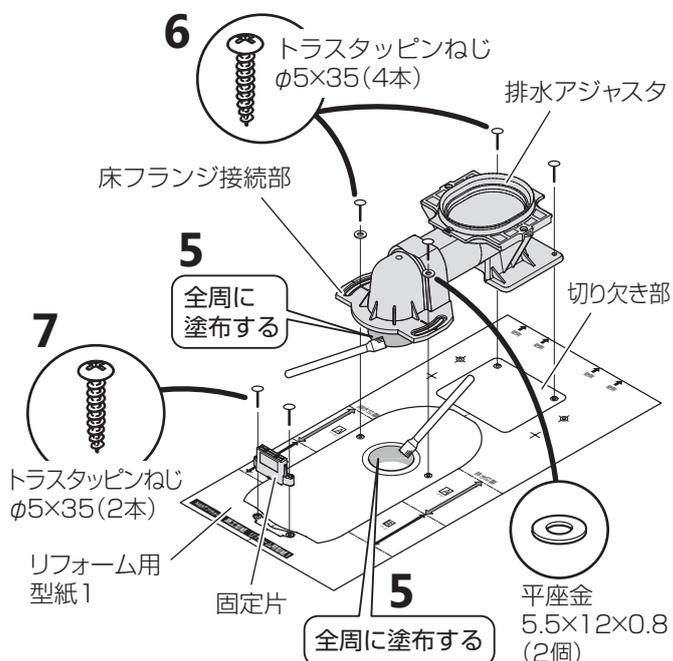
5 床フランジ接続部全周に塩ビ用接着剤を塗布する

6 リフォーム用型紙1の切り欠き部に合わせて床フランジ接続部、排水アジャスタを設置し、ねじで4か所固定する

※床フランジ接続部は平座金を使用してください。



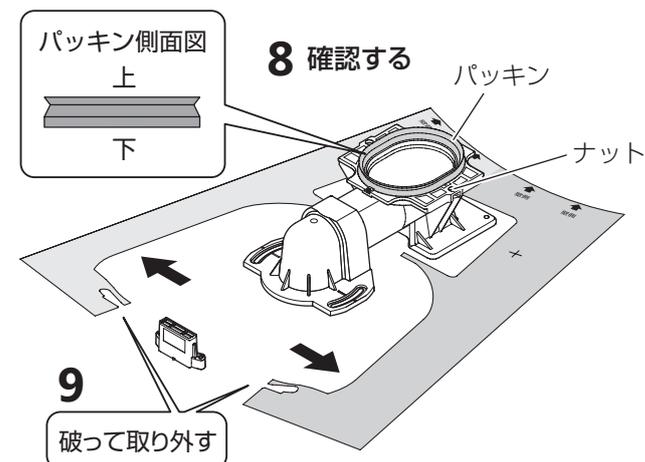
7 固定片をリフォーム用型紙1の切り欠き部にはめ、ねじで2か所固定する



8 排水アジャスタ上部にパッキン、ナットが取り付けられていることを確認する

※向かって右側に給水位置がある場合は、便器を設置する前に延長給水ホースを壁にそって仮置きしてください。

9 リフォーム用型紙1を破って取り外す



注意

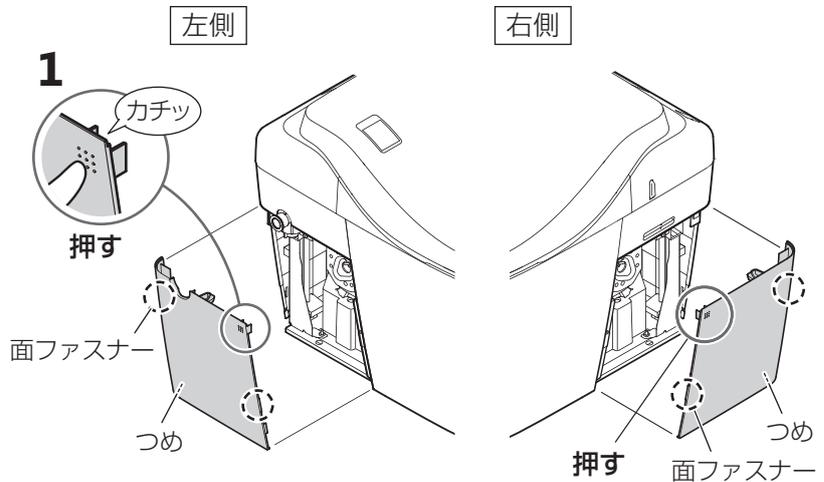


必ず守る

- 2階以上のトイレルームに設置するときは必ず排水管まわりにシーリングを行う
排水詰まりの原因となります。
- 排水アジャスタが床から浮いたり、がたつかないように床フランジをしっかりと押し込む
水漏れの原因となります。
- パッキンの上下の向きを確認する
水漏れの原因となります。

サイドカバーの取り外し

- 1 右側サイドカバーのねじを外す
- 2 サイドカバーの  部を押す
- 3 すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す
(面ファスナー2か所と、つめ1か所を外す。)



便器の取り付け

- 1 排水アジャスタの上から便器を置き、
①、②の順で固定する

※便器を排水アジャスタの上に置くと、
約10mm便器が浮きます。

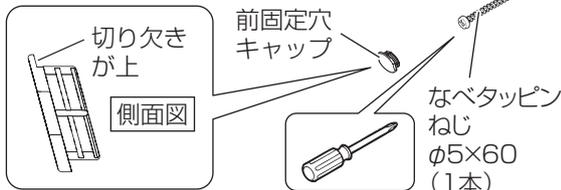
お願い

便器を持つときは
両側からベース
プレートに手を掛けて
持ち上げてください。

ここに手を掛ける

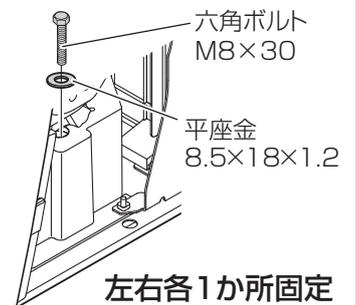
ベース
プレート

- 2 前方よりねじを締め付け、前固定穴
キャップを取り付ける

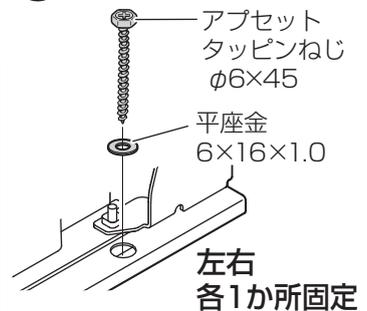


お願い ねじが空回りしないように、ゆっくりと
締め付けてください。

- ① 本体と排水アジャスター
の固定



- ② 本体と床の固定



警告



禁止

便器を取り付けるときは、
電源コードやアース線は
はさみ込まない
火災や感電の原因になります。

注意



必ず守る

便器本体と床を固定する金属フレームと床との間に
すき間がなくなるまで締め付ける

便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。便器を置いた
ままですと、パッキンがねじれ水漏れの原因になります。

止水栓への接続

- 給水位置の確認で既設給水位置が給水取付可能範囲にあるか、確認してください。
- 給水ホースと止水栓（もしくは分岐水栓）はまっすぐ、しっかりと締めてください。

1 止水栓と給水ホースを接続する

⚠ 注意



止水栓にがたつきのないことを確認する

必ず守る

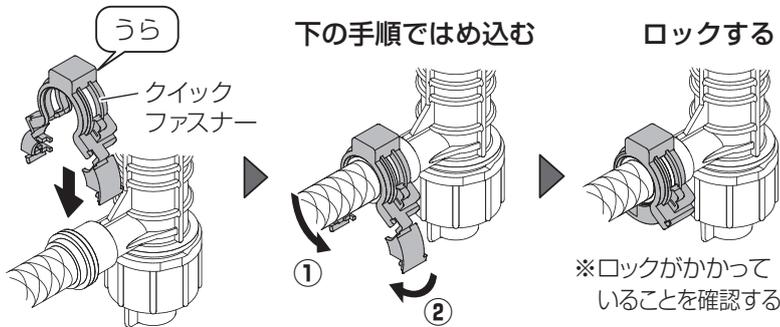
水漏れの原因となります。

※給水ホースがねじれたり折れたりした場合は、必ず止水栓の向きを調整してください。（曲げ半径50 mm以上）便器洗浄水量などが不足する場合があります。

2 給水ホースを便器本体の給水口に差し込む

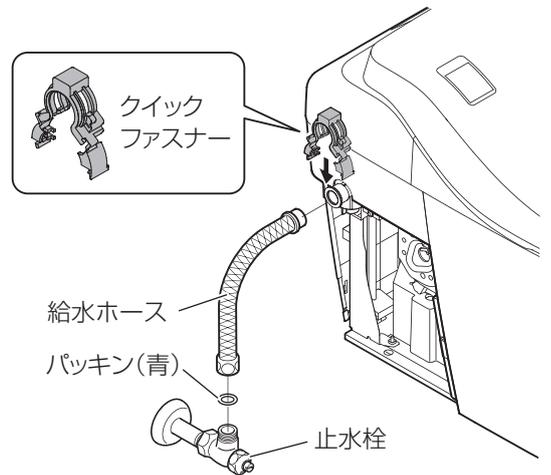
3 クイックファスナーを給水ホース接続部にはめ込み、ロックする

※クイックファスナーの表裏を確認して取り付けてください。



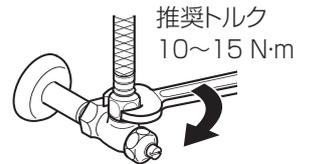
※ロックがかかっていることを確認する

向かって左側に給水位置がある場合



お願い

給水ホースは過大な力で締めすぎないでください。



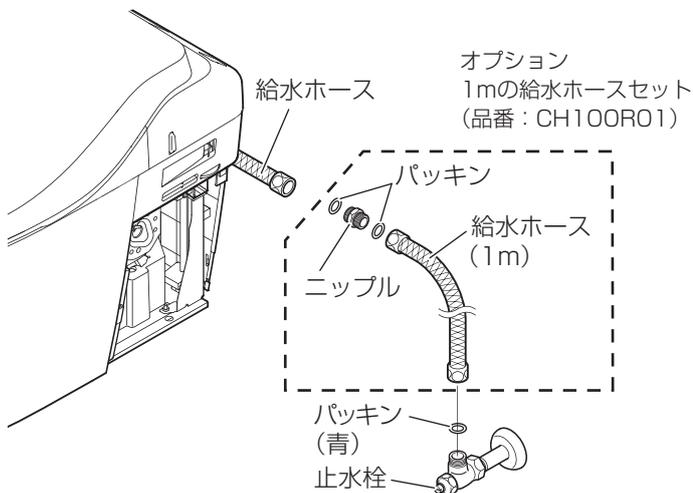
向かって右側に給水位置がある場合

オプションの1 mの給水ホースセット（品番：CH100R01）を手配し、接続する。

お願い

必ずオプションの1 mの給水ホースセット（品番：CH100R01）を使用してください。

市販のものを使用されると、流量が出ないため洗浄性が悪くなるおそれがあります。



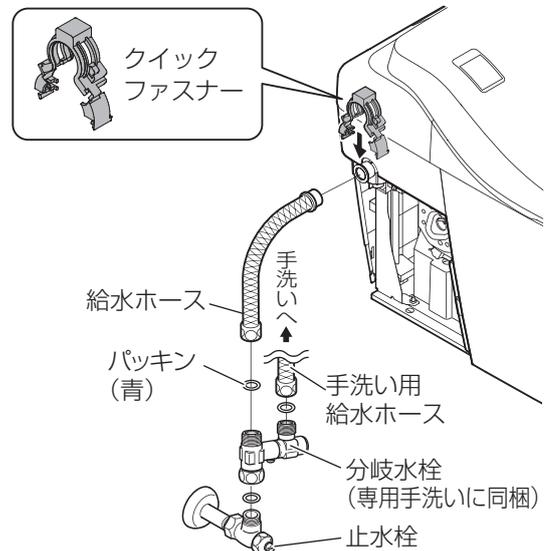
手洗ユニットとセットの場合

給水ホースと手洗い用給水ホースの分岐水栓への取り付け位置に注意してください。

※給水ホースと手洗い用給水ホースの取り付け位置が逆になると、便器、手洗いに適切な流量が供給されません。

止水栓の位置が、手洗いと逆側にある場合

手洗い用給水ホースは、便器本体の後側を通して接続してください。



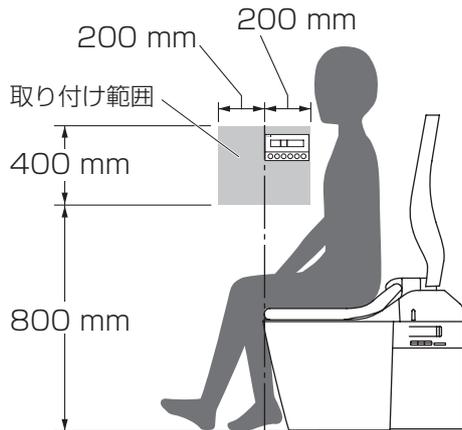
アームレストを取り付ける場合は、アームレストに同梱のアームレスト施工説明書を参照してください。 **オプション**

リモコンの準備

1 リモコンからリモコンホルダーを外す

2 リモコンホルダーを取り付ける

取付位置の目安



- お客様と十分ご相談のうえ、便座に座った状態で使いやすい位置に取り付けてください。（「取付位置の目安」参照）
- 取り付け前に必ずリモコンの信号が受信できることを確認してください。

【アプリ対応なしの場合】

- リモコンからの信号は、天井および壁からの反射光を便器に受信しますので、本体受信部・リモコン発信部の上部に棚やカウンターなどを設置しないでください。
- アプリ対応なしのリモコンでは、次のような場合に動作に影響するおそれがあります。

【直射日光が本体受信部・リモコン発信部にあっている場合】
直射日光をカーテンなどで遮断してください。

【壁紙や天井が黒色や濃い色の場合】
リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。

【同室で2台以上並べて設置される場合】
隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。壁を天井までつなげてください。
もしくは、リモコン信号を変更できますので、お買い上げの販売店までご相談ください。

■リモコンホルダーの取り付け例（図はフラットリモコンの場合）

ねじ止めできる壁材	ねじ止めできない壁材
各種合板・厚み5mm以上の壁	石こうボード・タイル・コンクリートなど
同梱の木ねじ3本で壁面に取り付ける。	下穴を開けてアンカープラグを差し込み、ねじで取り付ける。 下穴：φ5.5×40（3か所）
<p>皿ねじ φ3.5×16 (3本)</p>	<p>アンカープラグ 下穴φ5.5×40</p> <p>皿ねじ φ3.5×38 (3本)</p>

3 リモコンに電池を入れる

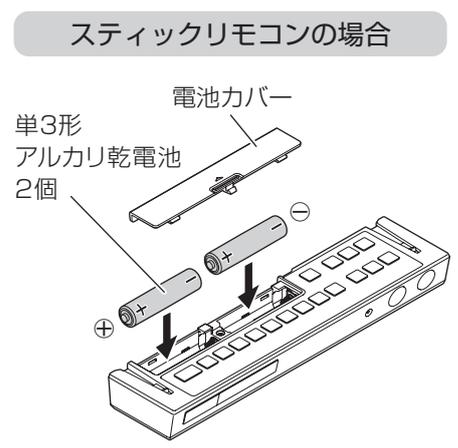
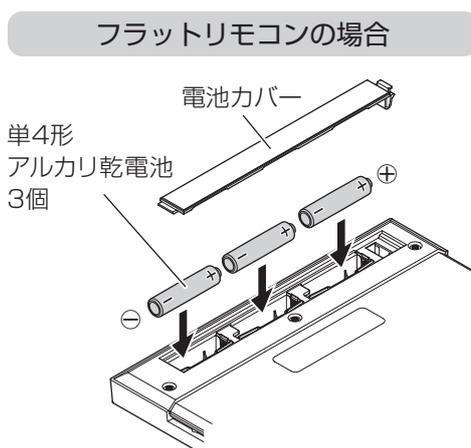
電池の⊕、⊖を正しく入れてください。

警告

電池の⊕、⊖を正しく入れる

取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。

必ず守る



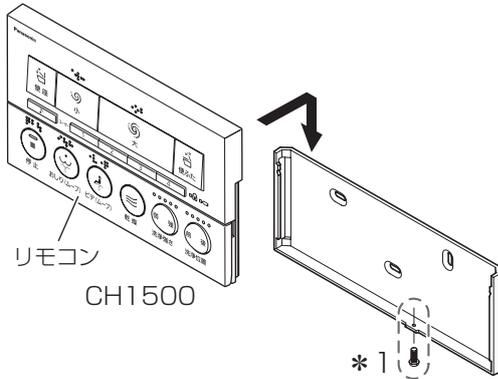
共通の施工手順

4 リモコンをリモコンホルダーに差し込む

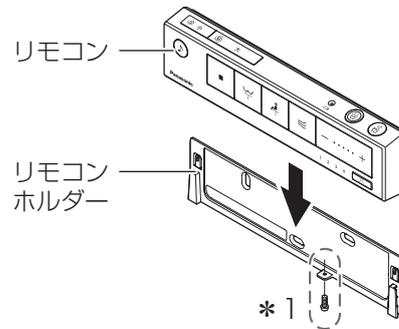
*1 このねじはタイプ9のみ使用できます。お客様と十分ご相談のうえ、イタズラ防止が必要な場合は、精密ドライバーでねじを固定してください。



フラットリモコンの場合



スティックリモコンの場合



本体への給水と通電

1 アース線を接続する

2 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグを差し込んで約3秒後に、本体表示部の電源ランプが約10秒間点滅します。
※この10秒間はすべての操作を受け付けません。「電源」、「自動便器洗浄」、「洗剤切換」のランプが点滅するまでお待ちください。

3 止水栓を開く

お願い 止水栓を開く前に電源プラグをコンセントに差し込んでください。

止水栓を先に開くと、洗浄水が流れ出す場合がありますが、故障ではありません。電源プラグをコンセントに差し込むと洗浄水は止まります。

「アプリ対応あり」の場合、本体とリモコンのペアリング設定を行ってください。(リモコン同梱のチラシ、本体取扱説明書参照)

4 リモコンサブボタンの

ノズル除菌* を押す

水が出ることを確認してください。

5 もう一度、リモコンサブボタンの

ノズル除菌* を押す

水が止まります。

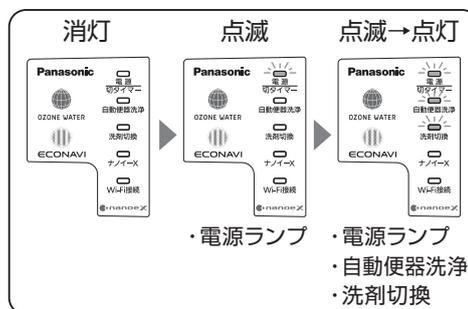
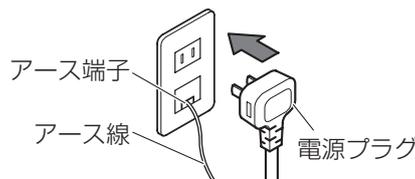
*タイプ9の場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

警告



必ず守る

- 定格15A以上交流100Vのコンセントを単独で使う他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
- アース工事 [D種 (第3種) 接地工事、接地抵抗100Ω以下] を行う
接地しないと漏電のときに感電するおそれがあります。



CH1500

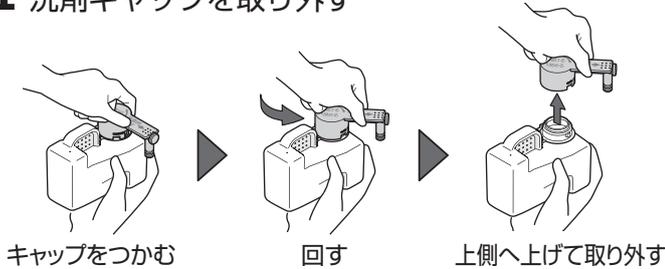


洗剤タンクの取り付け

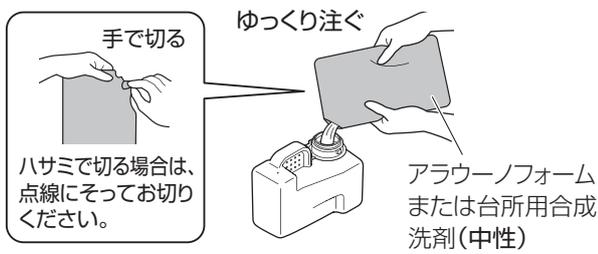
お客様への引き渡ししが1か月以上先の場合は、洗剤を洗剤タンクに入れないでください。

*タイプ9の場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

1 洗剤キャップを取り外す



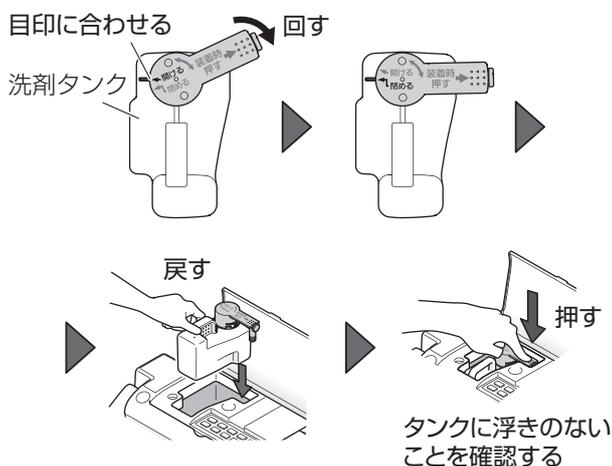
2 洗剤を入れる



※アラウーノフォームのバックは強く持つと液が飛び出ることがあります。

- お願い** ※種類の異なる洗剤は混ぜないでください。洗剤が反応して、故障の原因になります。
- 補充のときには、ごみ・ほこりが入らないようにご注意ください。
 - タンク外に液垂れし本体に付着した場合は、すぐに水ぶきで取り除いてください。

3 洗剤キャップを閉め、洗剤タンクを戻す



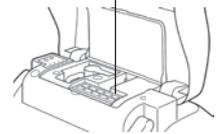
4 洗剤開始*を押す

モーター音が鳴り、洗剤供給を開始します。



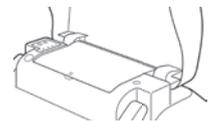
本体ボタン(CH1500)

※約1~2分後「ピー」と鳴って、洗剤供給が終了してから次の作業を行ってください。



操作後、トップカバーを閉じてください。

※この操作を完了させないと洗剤が投入されず、泡が出ません。



5 大 を押して便器洗浄する

- 洗浄後、水面に洗剤の泡が浮いていることを確認してください。
- 泡が出ない場合は、もう一度 洗剤開始* を押してください。

※それでも出ない場合は取扱説明書を参照。

お願い

- 長期不在などで、使用しない場合は洗剤タンクの水洗いと本体洗浄をしてください。
- 洗剤キャップを開けたまま使用しないでください。

お知らせ

- 水質、室温、水道圧の変動により、泡立ちや泡残りが変わる場合があります。洗浄性能には影響しません。泡の量を調整したい場合は取扱説明書を参照。
- 洗剤開始ボタンを押した当初は、数回の洗浄の間、泡の量が増加する場合があります。故障ではありません。

便器洗浄と水漏れの確認

⚠️ 注意

 禁止	<p>●設置後、便器本体を一度取り外す場合は、洗剤タンクが入ったまま便器本体を横置き、斜め、裏返しにしない 洗剤が漏れ、感電・火災の原因になります。</p>
 必ず守る	<p>●止水栓を開く前に、必ず同じ配管系統で排水し、給水管の空気を抜く 商品の破損や水漏れの原因になります。</p>

本体ボタンの **大洗浄** または

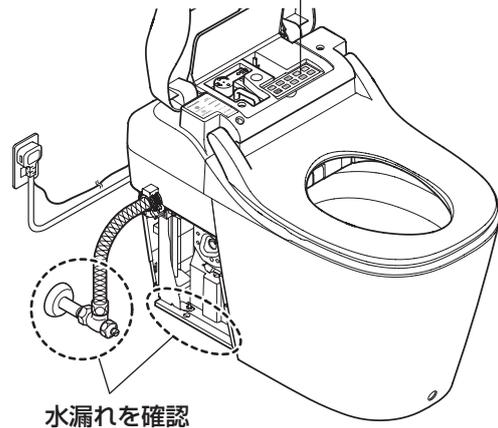
リモコンの を押し、

止水栓や排水管と本体との接続部から水漏れがないことを5～6回程度確認する

本体ボタン



CH1500



便器洗浄水量の調節（市町村指定の場合）

一部の都市では使用条件が決められていることもありますので、下水道局などの指示に従い、増量の必要がある場合は、増量モードに設定してご使用ください。

リモコン サブボタン

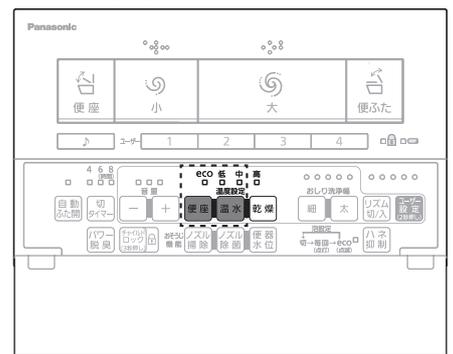
便座* と **温水*** を同時に2秒間押すごとに、洗浄水量が切り替わります。



- 増量モード1の洗浄水量：6.0L(大洗浄) 3.3L(小洗浄)
(動水圧0.2MPa時)
- 増量モード2の洗浄水量：8.0L(大洗浄) 3.3L(小洗浄)
(動水圧0.2MPa時)

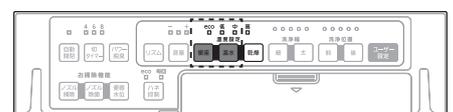
* タイプ9の場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

フラットリモコン サブボタン



CH1500

スティックリモコン サブボタン

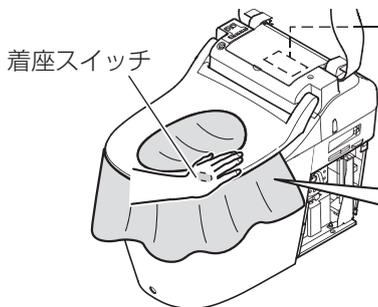


- お知らせ**
- 下水管の設置条件が悪い場合、(下水本管までの距離が長い・下水管の曲がり部が多い・下水管こう配が緩いなど) 洗浄水量が少ないと汚物が下水管内で詰まるおそれがあります。
洗浄水量を増量モードにしてご使用ください。
 - 下水管の設置条件については、水道工事事業者（施工店）に確認してください。

試運転

下記手順に従って、各機能をチェックしてください。
 *タイプ9の場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

フラットリモコンの場合

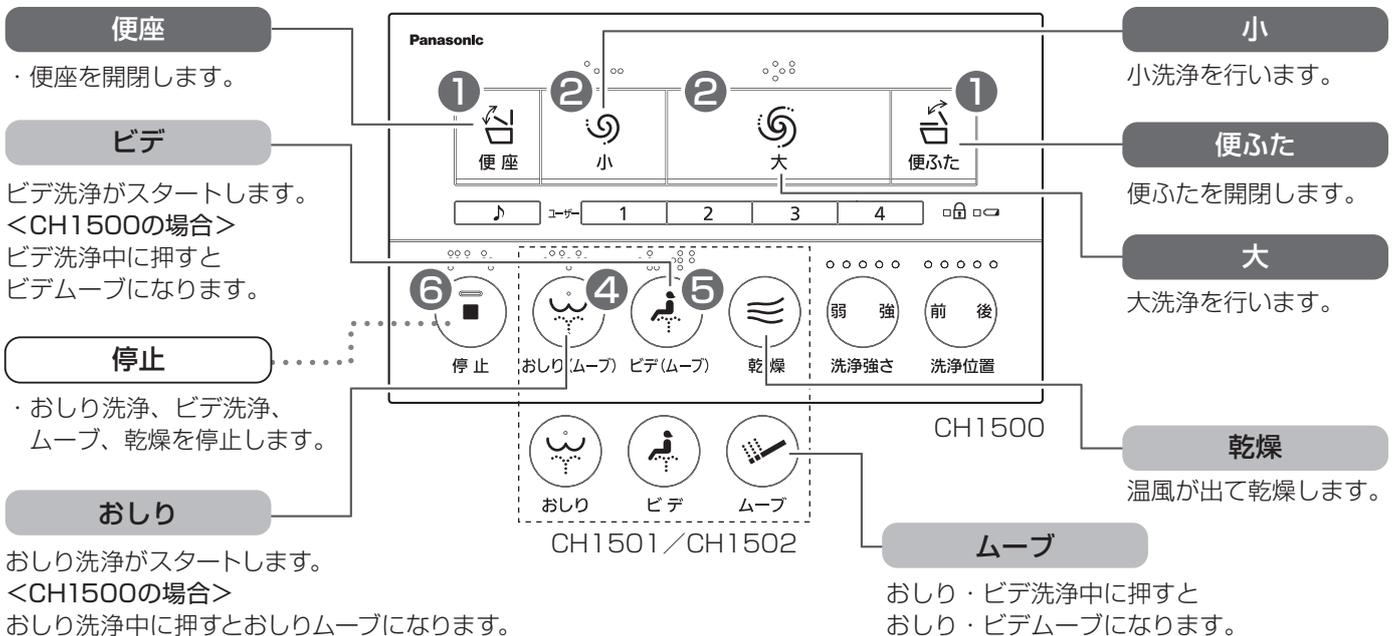


おしり・ビデの洗浄水が飛び出すので、ポリシートなどで覆ってください。

本体ボタン



CH1500



① 便座・便ふたが、スムーズに開閉しますか。

② 大洗浄・小洗浄はできますか。
 大洗浄時に洗剤の泡が出ますか。
 初めの数回は、泡が出ないことがあります。
 その場合は、再度本体ボタンの **洗剤開始** * を押してください。
 (約1分~2分後「ピー」と鳴って洗剤供給が終了してから次の操作を行ってください)
 それでも泡が出ない場合は…

- 洗剤タンクが十分差込まれていない → 最後まで押し込む
- 洗剤が不足している → 洗剤タンクの8分程度まで洗剤を入れる

③ 便座は温まっていますか。

※以下の操作は、便座の着座スイッチ部を押さえながらボタンを押す。

④ ⑤ 電源、自動洗浄、洗剤切替ランプの点滅は停止しますか。
 ノズルが出てきますか。
 温水になっていますか。

停止 (stop button icon) で止まりますか。

以上、試運転後、床面に水漏れがないか確認してください。

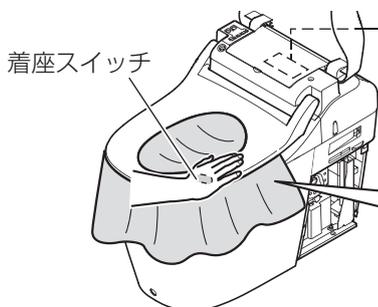
⑥ 温風吹出口（ノズルの右側）から温風が出てきますか。

停止 (stop button icon) で止まりますか。

※CH1500のみ

*タイプ9の場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

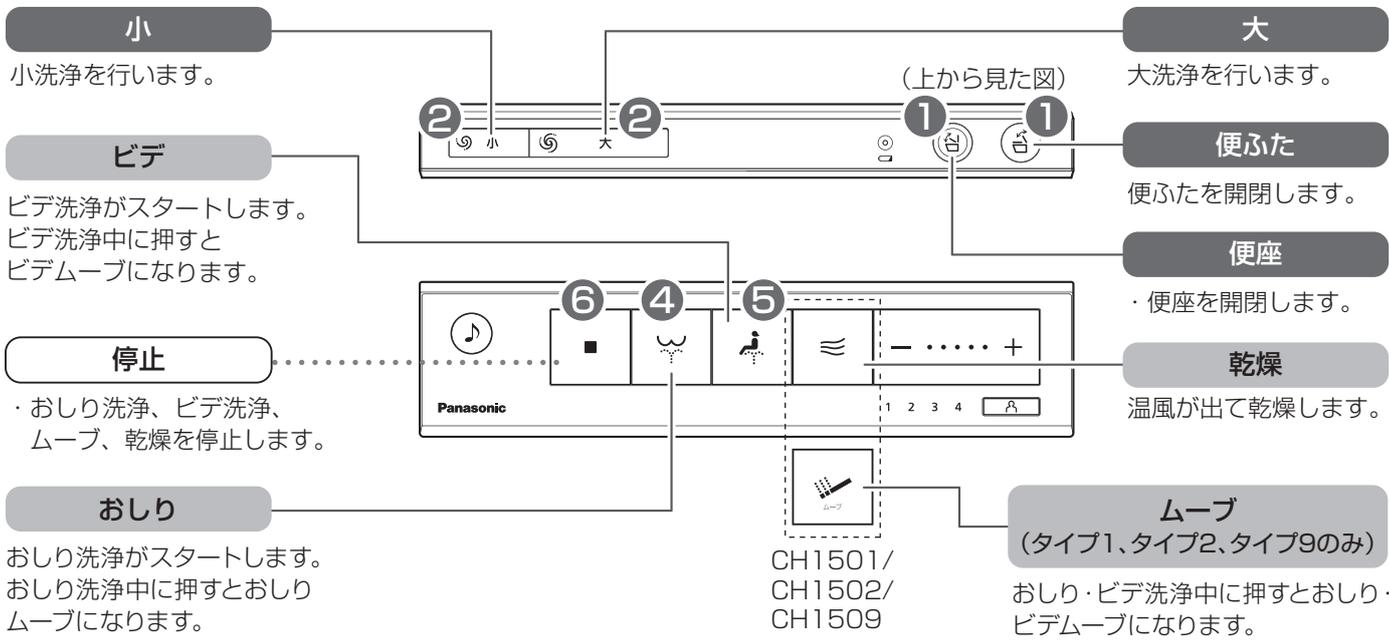
スティックリモコンの場合



本体ボタン



CH1500



① 便座・便ふたが、スムーズに開閉しますか。

② 大洗浄・小洗浄はできますか。
大洗浄時に洗剤の泡が出ますか。
初めの数回は、泡が出ないことがあります。
その場合は、再度本体ボタンの **洗剤開始** * を押してください。
(約1分~2分後「ピー」と鳴って洗剤供給が終了してから次の操作を行ってください)
それでも泡が出ない場合は…

- 洗剤タンクが十分差込まれていない → 最後まで押し込む
- 洗剤が不足している → 洗剤タンクの8分程度まで洗剤を入れる

③ 便座は温まっていますか。

*以下の操作は、便座の着座スイッチ部を押さえながらボタンを押す。

④ ⑤ 電源、自動洗浄、洗剤切替ランプの点滅は停止しますか。
ノズルが出てきますか。
温水になっていますか。

で止まりますか。

以上、試運転後、床面に水漏れがないか確認してください。

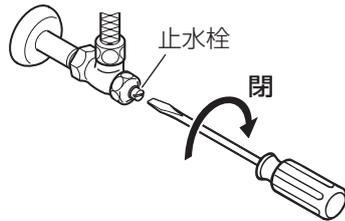
⑥ 温風吹出口（ノズルの右側）から温風が出てきますか。

で止まりますか。

ストレーナ(ごみ取りフィルター)の掃除

施工直後は、ストレーナに配管内の水あかやごみ、シールテープ、壁裏配管の劣化による鉄さびなどがつまり、洗浄性能が得られなくなります。
試運転後、必ずストレーナの掃除をしてください。

1 止水栓を閉める



⚠ 注意	
禁止	止水栓を開いたままストレーナを外さない 水が噴き出し拡大損害になります。

2 水受けをストレーナの下に置く

お願い

- 必ず水受けを置いてください。
50cc~100cc程度水が出るので、ストレーナを締めるまで水受けを用意してください。
- 便器や床に水がかかった場合は必ずふき取ってください。

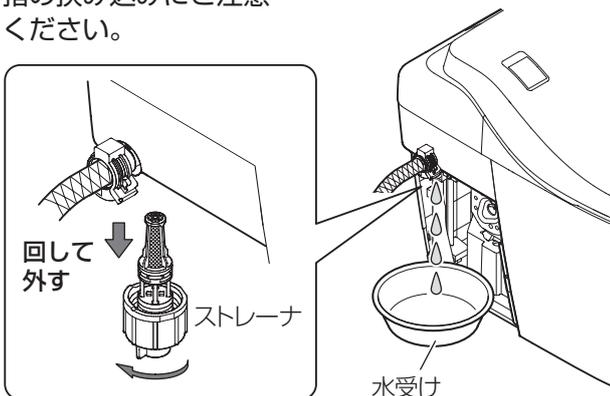
3 リモコンの または

本体ボタンの **大洗浄** を押す

「ピピピ・ピピピ」と鳴り、洗剤洗浄ランプが点滅するまでしばらくお待ちください。

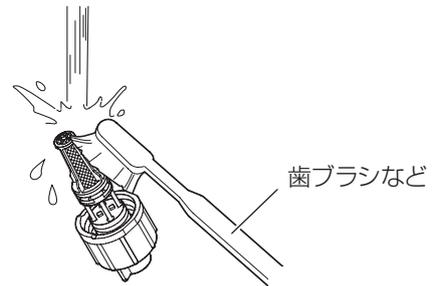
4 ストレーナを外す

指の挟み込みにご注意ください。



5 ストレーナを水洗いする

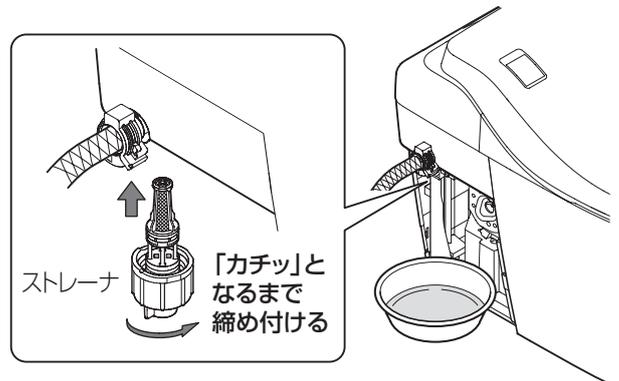
歯ブラシなどを使い、きれいに水洗いする



⚠ 注意	
必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●ストレーナのねじ部に異物がないようにきれいに水洗いする ●ストレーナはしっかりと締め付ける 水漏れの原因になります。

6 ストレーナを取り付け、締め付ける

指の挟み込みにご注意ください。



7 止水栓を開け、水漏れがないことを確認する

水抜き方法（施工後、長期間使用しない場合）

長期間使用しないときは、本体の水を抜き、電源プラグとリモコンの電池を抜いてください。
また、洗剤タンクを取り外して水洗いしてください。

1 止水栓を閉める

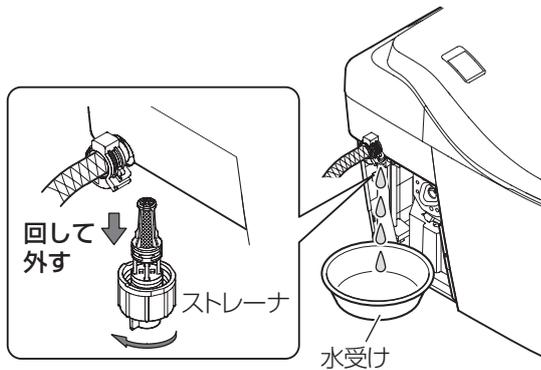
⚠ 注意	
禁止	止水栓を開いたままストレーナを外さない 水が噴き出し拡大損害になります。

2 リモコンの または

本体ボタンの **大洗浄** を押す

- 配管内の圧力を抜きます。
- 「ピピピ・ピピピ」と鳴り、洗剤洗浄ランプが点滅するまでしばらくお待ちください。

3 ストレーナを外し、水抜きをする



- 約50cc～100ccの水が出ますので、ストレーナを締めるまで水受けをお使いください。
- 取り外しの際は、指を挟み込まないようにご注意ください。
- 便器や床に水がかかった場合は必ずふき取ってください。

4 サブボタンの **切タイマー*** と **ハネ抑制*** を

同時に2秒押す

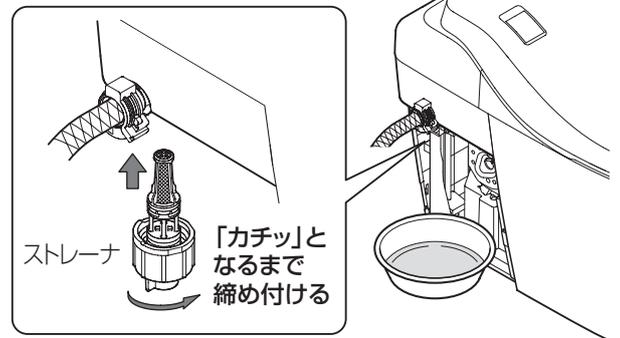
- 温水洗浄機能の水抜きをします。
- ブザー音が「ピー」と鳴るまでしばらくお待ちください。

* タイプ9の場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

5 アラウーノ専用手洗い連動水栓をご使用の場合

手洗いの施工説明書にしたがって水抜きを行ってください。

6 ストレーナを元通りに取り付ける 指の挟み込みにご注意ください。



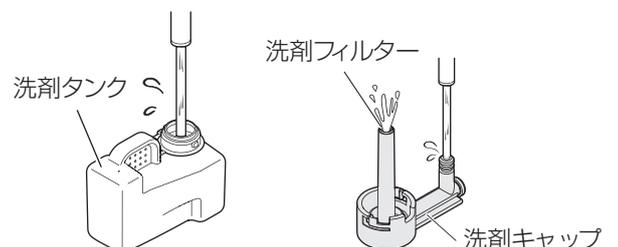
⚠ 注意	
必ず守る	ストレーナはしっかりと締め付ける 水漏れの原因になります。

7 電源プラグを抜く

8 リモコンの乾電池を抜く

お願い

- 便器ボール面の水たまりがなくならないように定期的に水の補充を行ってください。
封水切れとなり、下水臭気・腐食性ガスが逆流し、金属・電子部品の腐食・故障の原因となります。
- 定期的に水の補充が行えない場合、便器内のため水を排水し、ビニール袋で排水口をふさいでください。
- 長期間使用しない場合は、洗剤タンク、洗剤キャップを水洗いしてください。



シーリング方法 タイプ9のみ

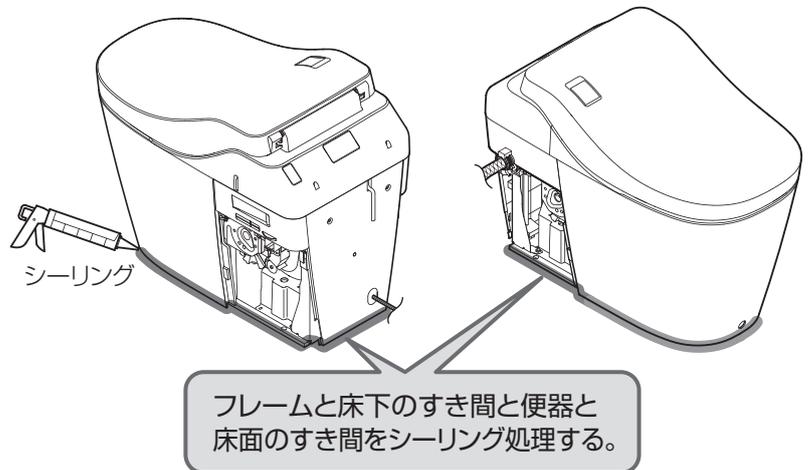
シーリング材が乾いてから、サイドカバーの取り付け（下記参照）を行ってください。

現場手配…シーリング材

フレームと床面のすき間、および便器と床面のすき間をシーリング処理する

お願い

サイドカバーは必ず取り外してください。



サイドカバーの取り付け

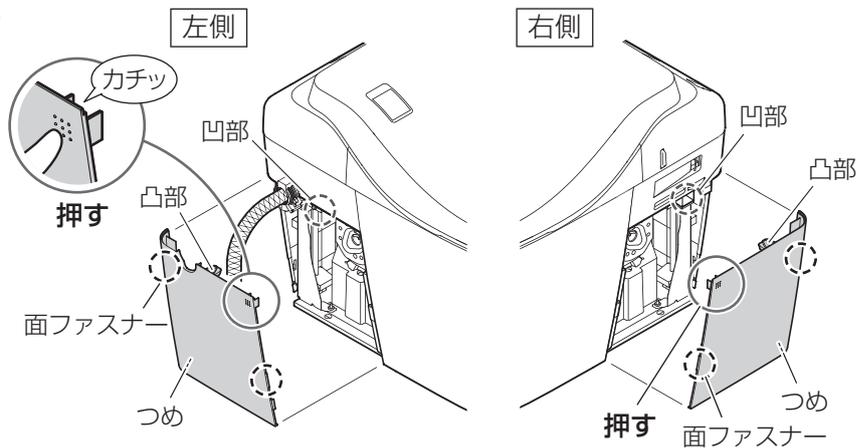
- 1 サイドカバーの凸部を便器の凹部に合わせ、カバーの  部を押す
(カチッと鳴ります)

- 2 面ファスナーとつめの部分を押し込む
(面ファスナー2か所と、
つめ1か所)

お願い

サイドカバーと床の間をシーリングしないでください。

サイドカバーが外れなくなります。



施工後の確認

施工後必ず動作確認を行い、この施工完了チェックリストに施工点検結果を記入の上、お客様へお渡しください。

No.	チェック項目	結果
1	浴室など、湿気が多い場所に設置していませんか？	
2	中水道や工業用水、井戸水に接続していませんか？	
3	便器にがたつきがありませんか？	
4	便器は床に固定しましたか？	
5	「止水栓」は開いていますか？	
6	交流100V 15Aに適した電源コンセントに接続していますか？	
7	アース線はアース端子に接続していますか？	
8	電源コンセントにがた・緩みはありませんか？	
9	サイドカバーは確実に取り付けられていますか？	
10	洗浄ボタンを操作し、次項を確認してください。	
	●大洗浄でトイレットペーパーが確実に流れますか？	
	●洗浄水は、一周まわっていますか？一周まわらない場合は、 ①水圧を確認してください。 ②ストレーナを掃除してください。	
	●便器と床面に水漏れはありませんか？	
	●配管部の水漏れはありませんか？ (事前に配管をふき、トイレットペーパーを当て、水漏れがないことを確認してください。)	
●大洗浄時に泡は出ていますか？		
11	温水洗浄便座は正常に動作しているか確認しましたか？	
12	ストレーナの掃除をしましたか？	
13	長期間使用しない場合、水抜きを行いましたか？(この場合、便器ボール面の水の補給が必要です。)	
14	長期間使用しない場合、ため水を足すか、ビニール袋に水を入れて排水口をふさぐようお客様にお伝えください。	

引き渡し

取扱説明書に従って取扱方法をお施主様にご説明ください。

施工説明書、取扱説明書、保証書(別添付)に必要な事項を記入し、お客様にお渡しください。

※タイプ9の場合、保証書は取扱説明書付きです。

施工日	施工店名	担当者

パナソニック株式会社 水廻りシステムビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2020

SEMS137

D1020-0